

自治研報

かながわ

1983

7

No.56 第7回定期総会



神奈川県地方自治研究センター

研究活動のいっそうの充実を 第7回定期総会終る

7月9日、自治研センターの第7回定期総会が横浜市開港記念会館で会員50名の参加で開かれ、新年度の事業計画、予算、役員を決めた。

定期総会は成島敏行理事（県議）の司会ではじめられ、議長に福田利久（横浜市従）を選出し、清水嘉治代表理事（神大）のあいさつ、来賓の藤井照生自治労本部副委員長、加藤万吉衆議院議員のあいさつが続いた。82年度の事業報告、決算報告と会計監査報告が行われ報告どおり承認された。さらに83年度の事業計画、予算、規約改正、役員改選が提案され、これも原案どおり決定した。

今年度の事業計画の中心は「地域経済」「高齢化社会」「地域政治構造」「地方財政」「婦人問題」などの独自研究活動と、地域生活運動に対するとりくみが主なものである。これらの活動を充実させるために、その基盤となる財政力を強めるため、個人会費月400円を500円に、団体会費月1,000円を1,500円に引上げることを決め、実施



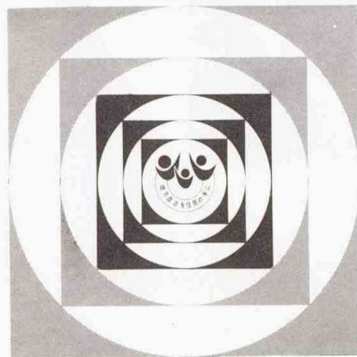
は84年1月からとなる。

これらの事業執行のため、研究員制度を昨年から発足させたが、今後一層の充実をはかるため、必要に応じて団体会員の単組代表者との懇談会などを開くことを企画している。

総会の議事終了後、特別講演として横山桂次代表理事（中央大学教授）から「83年政治決戦と地方自治」の講演があり、統一自治体選挙と参議院選挙の結果を総括する視点について提起があった。また、参議選の結果についての詳細は別添の資料として報告されている。

もくじ ◆◆ CONTENTS

自治研 かながわ 1983
7
No.56 第7回定期総会



神奈川県地方自治研究センター

| | |
|------------------------------|----|
| 1983年度 第7回定期総会議案 | |
| 1982年度事業報告・行動日誌 | 3 |
| 同 決算報告・会計監査報告 | 10 |
| 1983年度事業計画 | 12 |
| 同 規約改正 | 14 |
| 同 予 算 | 16 |
| 同 役員改選 | 18 |
| 研究講師団・顧問団名簿 | 19 |
| 各地の地方自治研究センター | 20 |
| 特別講演 | |
| 「83年政治決戦と地方自治」 | |
| —統一自治体選挙、参議院選挙の 結果をどうみるか— | |
| 中央大学教授 横山 桂次 | 21 |
| 資 料 | |
| 1983年6月参議院議員選挙の記録 | 29 |

1982年度

事業報告

77年6月に設立された当自治研センターも昨年で初期の創業期の区切りともいえる5年間が経過いたしました。簡単に5年間の主な活動内容を列記し、そのあと82年度(第6年次)の詳細な活動報告といたします。

第1年目(77年6月～78年5月)

初年度であり基礎的研究活動を中心にして、事務所運営を軌道にのせることに力をそそぎました。初年度の主な活動は、新神奈川計画と自治を考える研究、地方財政研究、住民参加と行政の対応の研究会をそれぞれもち、地方自治講座や財政分析学校などを開催しました。新神奈川計画に対しての意見書の提出を終え、その他は次年度に引継がれました。

第2年目(78年6月～79年5月)

前年から引続いて住民参加と行政の対応の研究を行い報告書をまとめました。そして各論の研究にすすみ、水資源、下水道、公共事業のあり方などの研究をすすめました。この年出された「都市経営論」に対する総論的な反論も自治労県本部との共同作業でまとめました。さらに、地方財政危機突破の国民調査団を受入れ、県・横浜・横須賀の財政分析を行いました。

第3年目(79年6月～80年5月)

調査研究内容の質と領域が飛躍的に拡大したのが3年目の特徴です。地方行財政システム改革のために権限移譲を行うという県の方針に対して継続したとりくみを行い基本的見解をまとめました。また、「革新県政を推進するための政策研究会」を発足させ4つの分科会による政策研究がすすめられました。同時に県評との共同研究が開始され労働者のつくる居住者組織のあり方について研究がすすめられました。

第4年目(80年6月～81年5月)

前年開始した「県政策研究会」が一定の成果をあげたのをうけて、新たに「情報公開」の研究会を発足させ、81年5月には意見書としてとりまとめ知事に提言しました。この意見書は官庁以外で初めての本格的なものとして大きく報道され成果が評価されました。また、地域の研究機関との共同研究もすすみ、川崎市職労との「公害行政」、相模原市政市民センターとの「清掃直営化の提言」「まちづくりへの提言」などが出されました。さらに、全国の革新自治体の仲間とともにシンポジウム「自治体革新の新段階をめざして」を81年1月に開催しました。

第5年目(81年6月～82年5月)

第2次臨時行政調査会がこの年3月に発足し、7月には第1次答申が出されたのをうけて、臨調行革に対するとりくみを中心となりました。第1次答申の「影響調査」で県民と自治体への影響の大きいことと、福祉切捨ての臨調の考え方を明らかにしました。行革の自治体予算への影響調査も行い、予算分析の手法開発をすすめました。また、県評と共同で「労働者の地域政策」についての研究会が発足しました。

1. 調査活動

(1) 資料の収集

ア. 地方自治に関する参考文献を購入し、資料を収集整理することは調査活動の基本となります。前年に引続いて県内自治体の予算書をはじめとする基礎資料の収集を行い保管しています。

また、各種の白書、行政資料等を購入・収集し整理しました。

現在3,000余冊の参考文献・法令集・各種統計書などを保管し、95種類の雑誌・定期刊行物が整理保管されています。資料等の増加に伴い保管分類等の近代化が今後の課題です。

- イ. その他、各研究テーマごとに、財政・統計・選挙などに関する資料のコピー、スクラップなどをその都度整理保管しています。特に第2次臨調に関する調査会資料を新たに保管しました。

(2) 調査活動

- ア. 臨調の第3次答申（基本答申）が出されたのをうけ、「基本答申の自治体と住民への影響調査」を行いました。9月の人事院勧告凍結の政府決定をうけ、「人勧凍結に伴う影響調査」を10月に発表し、続いて「基本答申による影響」を11月に発表し、さらに各都市別の影響試算を行いました。県民1人あたり3万5,300円、1世帯あたり10万7,400円と推計し、その影響の大きさを明らかにしました。基本答申のもつ教育・福祉の切捨ての考え方に強い警告を与えました。
- イ. 58年度の政府予算がマイナス・シーリングのもとで編成され、超緊縮予算となったことから、この予算が自治体予算に与える影響の調査をすすめました。「影響調査のチェックポイント」を作り、予算分析の項目整理をすすめました。分析調査手法が昨年より1歩踏み込んだものになりましたが、統一自治体選挙の年であったため県以外の個別自治体の調査まではできませんでした。

(3) 臨調答申にむけた現地調査

臨調の丸山委員からの依頼により、臨調答申にむけた丸山意見を提言するための作業や調査に協力しました。基本答申にむけての見解を丸山事務所・自治総研と協力してまとめたのをはじめ、最終答申にむけた国の地方支分局の実態調査を行いました。地方出先機関の整理統合に関するこの調査は、11月に神奈川県、山梨県で行われました。神奈川では当センターが窓口となり実施しました

が、山梨県の調査にも当事務所から参加しました。臨調と部会に関する調査とその資料は保管整理されています。

2. 研究活動

(1) 行政改革に対するとりくみ

- ア. 臨時行政調査会は82年7月に基本答申を出し、続いて83年3月には最終答申を出し解散しました。臨調答申の直接的目的は国の行政改革ではありますが、地方自治体へ与える影響が大きいことから、昨年に引続いてこれに対するとりくみを積極的に行いました。
- イ. 昨年の総会当日、「地方自治を考える1日臨調」を自治労県本部と共同で開催し、臨調が答申すると予想される内容の問題点を解明しながら、相互討論の場をつくりました。また、11月には公開シンポジウム「行政改革と県民生活」を両者の共催で開き、多くの住民団体・労働組合の参加を得ました。この2つのシンポジウムにむけた問題提起をするための調査研究活動の成果は、それぞれ月報で報告されました。（調査活動参照）

また、このシンポジウムの資料は総評主催の「国民のための行政改革」を考えるシンポの資料として活用され、全国へ紹介されました。

(2) 政策研究会の始動

- ア. 79年から始められた「革新県政を推進するための政策研究会」は分科会ごとの研究を続けてきましたが、事務局体制の弱さから半ば中断状態となりました。そこで、当事務局を中心とする研究活動に切りかえることになりました。
- イ. 82年12月に理事・研究講師団合同研究会を開き、「高齢化社会研究会」「地域経済研究会」「地方財政研究会」の3課題について清水嘉治代表理事等から問題提起を受けました。この研究会に出された課題と、新たに「地域政治構造研究会」と県政研究会からの引続いた課題とし

て「婦人問題研究会」をもうけることにしました。

ウ. 5つの研究課題をすえました。1月にその準備のための参加要請を行い、事務局内部の分担を決め研究会開催の準備をすえました。その後、統一選挙に入ったため、事務的にデータ収集とその蓄積の作業を進めることとなりました。選挙終了後、関係者との協議が進められており、各研究会はいまスタートの段階に入っています。

なお、5つの研究会のうち「地域経済研究会」は、合同研究会として位置づけ、相互に関連する研究とあわせながら進めることになっています。

(3) 県評との共同研究

ア. 80年から神奈川県評との共同研究が始められ、勤労協運動と地域活動についてのテーマが主課題でした。82年6月から共同研究の課題として「83年にむけた労働者の地域政策」をとりあげることになり研究活動をすえました。この研究会では、県評傘下の各単産が現在かかえている課題と地域政策についてヒアリングを行いました。このヒアリングで出された政策課題と、研究会メンバーの分担による課題別の問題提起をうけ、「地域政策の提言(素案)」をつくりました。

イ. この研究会の素案をもとに、8月に県評政策研究会・自治研センター講師団の合同会議で討論が重ねられました。合同会議で出された意見を補足しながら、9月の県評大会に「労働者の復権をめざして」という報告書をまとめ提出しました。内容は月報№53で再掲されています。

ウ. 4年目の共同研究は83年2月から準備に入りました。研究会メンバーによるフリートークを経て、統一選挙で一時中断しましたが、5月末には「地域生活運動の発展にむけて」がテーマにきました。労働者と住民運動体がどう地域で連帯・共闘できるのかをさぐることになっており、自立的運動を進めている住民団体からのヒアリングを行い報告書をまとめる予定

になっています。

(4) 地域生活圏闘争の関連研究

ア. 82年8月の自治労本部大会で、全国の各地域で「行革・地域生活圏闘争」を展開することが方針化されました。これをうけ、神奈川でもこの闘いを具体化するためには自治研センターの果す役割の大きいことから、研究事務局体制の強化が必要となりました。具体的には自治労県本部から研究委託をうけ、そのスタッフとして研究員を配置することになりました。

10月1日の理事会の承認を得て、新しく研究員として佐藤孝治氏を委嘱しました。研究員の研究活動は、主として地域生活圏にかかわる諸データの整理・分類とその蓄積です。その作業を遂行するため、パーソナル・コンピュータを導入しました。現在、財政・就業構造・選挙などのデータを入力し、データベース化にむけて研究が進められています。前述の5つの研究会に関連するデータも逐次入力され、研究活動の幅と領域の拡大、質の向上をはかることになっています。

イ. 地域生活圏闘争の方針をうけて、総評・社会党と自治労の3者による共同闘争を推進することが提起され、12月に県代表者会議が開かれました。その席上、神奈川もこの運動の拠点県になりました。それを受け、1月に県レベルの担当者と中央の担当者の打合せ会がもたれ、具体的な運動の展開についての要請をうけました。県評との共同研究のテーマもこれらの要請を考慮しながら決定されたものです。

ウ. 一方、公的企業労働者協議会(公企労協)の依頼をうけて、「地域生活点検基準づくり研究会」(主査 高木郁郎山形大教授)が、12月から東京で学者・研究者を中心につくられました。自治労本部の要請で神奈川からも参加することになり、83年3月まで作業を続けました。点検基準のモデルとなる表づくりは500ページを超えるものになり、現在、関連する単産内部の討議に移っています。

(5) 地方自治研究活動

ア. 第19回自治研神奈川集会は、82年6月から8月までかけて、14分科会・分散会を県内各地に会場を移しながら開催されました。行政改革に対する臨調の基本答申が出された前後であったため、基本答申の持っている問題点とそれが自治体職場にどう影響するかが討論の中心になりました。分科会・分散会の参加者は各会場とも前年を上まわり、681名の参加（前年は563名）を得ました。

イ. 自治研活動と地域生活凶闘争に関連する自治労の研究集会が多くもたれました。7月の情報公開・不公平税制の集会、同じ7月のブロック別行革集会、10月の行革・地域生活凶闘争活動者集会にそれぞれ出席し、神奈川でのとりくみの報告をしました。

また、9月には社会党の自治体政策研究全国集会にも出席し、討論に参加しました。

3. 教育活動

(1) 行政改革の学習会

行政改革についての研究とあわせて、県内各地で行政改革の学習会が開かれ、当センターから講師派遣をしました。県評や地区労の学習会や自治労傘下の各単組からの要請にこたえたものであり、別掲の行動日誌のとおりになっています。行政改革が国の行政だけでなく自治体や県民に負担を強いる結果になっていることについて、専門的立場から見解を述べ、学習の素材を提供しました。

(2) シンポジウムの開催など

研究活動の項で報告したとおり、「地方自治を考える1日臨調」「行政改革と県民生活」の2つのシンポジウムを開催しました。労働組合だけでなく住民運動団体にもよびかけた意義ある討論集会となりました。

また、自治労県本部の労働学校への講師派遣を

はじめ、「自治体革新をめざすよこはまの会」や生活クラブ生協など市民団体の学習教育活動に協力し講師派遣をしました。

4. 出版事業

(1) 自治研かながわ月報

昨年の総会にはかって、研究活動に重点をおく意味から、これまで毎月発行していた月報を、隔月発刊としました。今年度は統一自治体選挙があったため1部合併号となり、次の5号を発刊しました。

51号(82年7月) 第6回定期総会議案・臨調4部会報告批判

52号(82年9月) 苦闘するアメリカ公務員労働運動—レーガン行革とAFSCME

53号(82年11月) 83年にむけた労働者の地域政策の提言「労働者の復権をめざして」

54号(83年1月) 特集—行政改革と県民生活、公開シンポの記録、基本答申の影響

55号(83年3～5月合併号) 83年統一自治体選挙の記録、全国の特徴と神奈川の選挙結果

(2) 月刊自治研の配布

前年度に引き続き毎月全会員あて、「月刊自治研」を配布しました。自治労本部の発刊がやゝ遅れがみでありご迷惑をおかけしました。なお、月刊自治研は会費前納を原則として配布することになっており、会費の納入がないと配布されなくなることもありますので、是非とも前納にご協力下さい。

(3) その他資料の発刊

県評政策研究委員会との共同研究の成果として「労働者の復権をめざして—83年にむけた労働者の地域政策の提言(素案)」を82年9月に発刊しました。

また、行政改革に関連して、「人事院勧告凍結の影響調」を82年10月に、「臨調基本答申による

県民と県内自治体への影響」「県内都市別・行革の影響調べ」を同11月に資料として発表しました。

5. 機関運営など

(1) 総会・理事会・企画委員会

第6回定期総会 82年7月3日(県政総合センター2階)

第18回理事会 82年8月16日(労働福祉センター)
研究講師団と合同で政策提起の検討

第19回理事会 82年10月1日(自治研センター)
地域生活圏闘争の推進について

第20回理事会 研究講師団合同研究会 82年12月24日(Y. M. C. A 横浜会館)

第6回企画委員会 83年6月3日(自治研センター)

第21回理事会 83年6月17日(自治研センター)
第7回総会の議案審議

自治研センターの運営に関する会議は以上のとおりです。研究活動の項で報告したように第19回理事会で研究員制度の発足をみました。当面、常勤の非常勤の委嘱ですが、今後の研究活動の拡充にむけて関係機関との協力を続けます。

(2) 交流集会など

全国にある地方自治研究センター・研究所の交流集会が83年2月栃木県で開かれました。行政改革と自治体予算の関連について熱心な討論が行われました。また、83年5月には自治労関東甲地連の1都7県の自治研センター・自治研担当者会議が、初めて東京青梅市で開かれました。各県の実情などを出しあい、今後定例的に開くことを申しあわせました。

全国の交流の他に、新しく自治研センターをつくる地方との交流も進めました。また、県内には川崎と相模原に研究機関が設置されていますが、今後、その他の地域にも設立できるよう努力することが課題です。

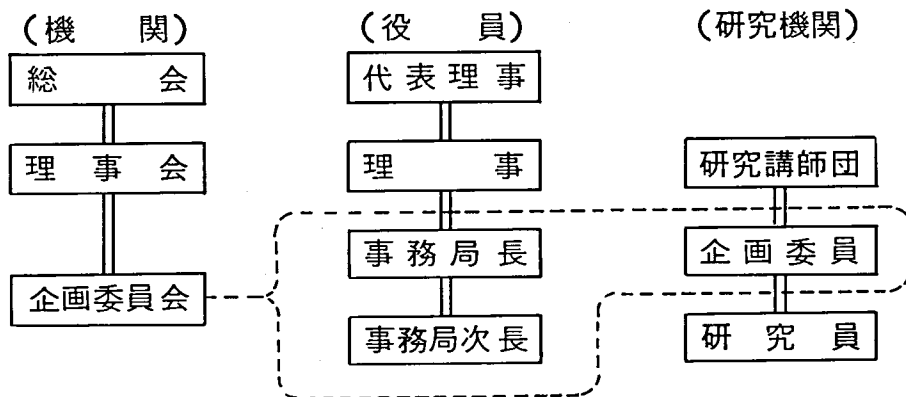
活 動 日 誌

<1982年>

- | | |
|---------------------------------|----------------------------------|
| 7. 3 第6回定期総会(県政総合センター) | 会館) |
| ” シンポジウム「地方自治を考える1日臨調」(同) | 7. 16 社会党行政改革シンポジウム(東京・虎の門) |
| 7. 6 労働者政策研究会(Y. M. C. A.) | 7. 17 県自治研「学校」分科会(湯河原・ちとせ荘) |
| 7. 7 県自治研「衛生医療」分科会(平塚農協会館) | 7. 22 労働者政策研究会 |
| 7. 8 同「公営企業」分科会(城山・津久井湖記念館) | 7. 23~24 自治労ブロック別行政改革集会(福島・磐梯熱海) |
| ” 労働者政策研究会 | 7. 24 県いのくら共同行動委 分科会 |
| 7. 9~10 不公平税制・情報公開問題各県代表者会議(熱海) | 7. 27 県自治研「基地」分科会 |
| 7. 10~11 県自治研「保育所」分科会(箱根湯本) | ” 綾瀬市職労行革学習会 |
| 7. 12 労働者政策研究会 | 7. 28 労働者政策研究会 |
| 7. 15 県自治研「雇用労働」分科会(川崎労働 | 7. 29 県自治研「企画財政」分科会(労研センター) |
| | 8. 3 県評行革学習会(県評会館) |
| | 8. 5 横須賀市職労行革学習会 |

- | | |
|--|---------------------------|
| 4. 24 市長・市議，町村長・議員選挙投票日 | 5. 31 地域生活運動研究会 |
| 4. 27 北海道・全道庁職組来訪 | 6. 3 自治研県集会，分科会運営協議 |
| 5. 10～11 関東甲・自治研センター・自治研担 当者交流集会（東京・青梅） | “ 自治研センター企画委員会 |
| 5. 11 北海道自治研究所来訪 | “ 参議院議員選挙公示 |
| 5. 13 自治研拡大推進委員会 | 6. 7 地域生活運動研究会 |
| 5. 20～22 北海道帯広市情報公開研究会，全道 庁幹部と交流 | 6. 14 同上，地域政治構造研究会打合せ |
| 5. 23 地域生活運動研究会 | 6. 17 自治研センター理事会 |
| 5. 26 県地財共闘 副知事交渉 | 6. 23 自治研拡大推進委 |
| 5. 28 清水嘉治先生を励し連帯を考える会 | 6. 26 参議院議員選挙投票日 |
| 5. 30 自治研県集会打合せ | 6. 27 地域生活運動研究会 |
| | 6. 29 川崎市職労労働学校（労働教育センター） |
| | 6. 30 合成洗剤使用調査団打合せ（平塚） |

《センター構成図》



1982年度

決 算 報 告

一 般 会 計

〈収入の部〉

〈1982年6月1日～1983年5月31日〉 (単位 円)

| 科 目 | 82年度予算 | 執行額 | 予算未収 | 摘 要 |
|-----------|------------|------------|-----------|--------------|
| 1. 会 費 | 11,900,000 | 9,918,400 | 1,981,600 | |
| (1) 個人会費 | 2,400,000 | 1,222,400 | 1,177,600 | のべ 3,048 口 |
| (2) 団体会費 | 3,000,000 | 2,196,000 | 804,000 | のべ 2,196 口 |
| (3) 特別会費 | 6,500,000 | 6,500,000 | 0 | 13口 自治労県本部より |
| 2. 調査委託収入 | 1,500,000 | 1,800,000 | △300,000 | 自治総研・県評より |
| 3. 寄 附 金 | 10,000 | 10,000 | 0 | 総会祝金 |
| 4. 繰 越 金 | 754,358 | 754,358 | 0 | 前年度繰越金 |
| 5. 雑 収 入 | 10,000 | 11,155 | △1,155 | 銀行利子 |
| 6. 借 入 金 | 1,000,000 | 1,000,000 | 0 | 自治労県本部より |
| 合 計 | 15,174,358 | 13,493,913 | 1,680,445 | |

〈支出の部〉

| 科 目 | 82年度予算 | 執行額 | 予算残 | 摘 要 |
|------------|------------|------------|------------|---------------|
| 1. 事務局費 | 3,800,000 | 4,520,943 | △ 720,943 | |
| (1) 事務所費 | 2,300,000 | 3,325,085 | △1,025,085 | 家賃・XEROX代 |
| (2) 事務費 | 200,000 | 204,290 | △ 4,290 | 事務用品 |
| (3) 通信費 | 1,000,000 | 772,410 | 227,590 | 郵便料・電話料 |
| (4) 雑 費 | 300,000 | 219,158 | 80,842 | 諸雑費 |
| 2. 会議旅費 | 1,300,000 | 1,209,885 | 90,115 | |
| (1) 会議費 | 500,000 | 585,865 | △ 85,865 | 総会・理事会・自治研集会 |
| (2) 旅 費 | 800,000 | 624,020 | 175,980 | 同上旅費 |
| 3. 事業費 | 8,700,000 | 6,705,694 | 1,994,306 | |
| (1) 調査活動費 | 1,600,000 | 2,075,144 | △ 475,144 | 資料・図書・新聞代・調査費 |
| (2) 研究活動費 | 2,700,000 | 1,520,550 | 1,179,450 | 各研究費用 |
| (3) 教育活動費 | 300,000 | 0 | 300,000 | |
| (4) 月刊自治研費 | 1,400,000 | 944,600 | 455,400 | 月刊自治研誌代 |
| (5) 出版事業費 | 2,500,000 | 1,965,400 | 534,600 | 月報印刷代 |
| (6) その他事業費 | 200,000 | 200,000 | 0 | |
| 4. 借入金返済 | 1,000,000 | 1,000,000 | 0 | 自治労県本部へ |
| 5. 予 備 費 | 374,358 | 0 | 374,358 | |
| 合 計 | 15,174,358 | 13,436,522 | 1,737,836 | |

差引残高 57,391円

調査研究事業会計

〈収入の部〉

1982年10月1日～1983年5月31日 (単位 円)

| 科 目 | 82年度予算 | 執行額 | 予算未収 | 摘 要 |
|--------------|-----------|-----------|---------|--------------------------|
| 1. 一般会計より繰入金 | 1,200,000 | 1,200,000 | 0 | 研究活動費 100万 その他事業費 20万 |
| 2. 調査研究委託収入 | 1,800,000 | 2,000,000 | 200,000 | 地域生活圏闘争 自治労県本部 |
| 3. その他事業収入 | 500,000 | 302,687 | 197,313 | 分析作業等委託事業収入 |
| 合 計 | 3,500,000 | 3,502,687 | △2,687 | |

〈支出の部〉

| 科 目 | 82年度予算 | 執行額 | 予算残 | 摘 要 |
|------------|-----------|-----------|----------|-------------|
| 1. 調査研究総務費 | 3,000,000 | 3,157,800 | △157,800 | |
| (1) 機器借入費 | 800,000 | 690,400 | 109,600 | 月約9万×8カ月 |
| (2) 研究開発費 | 400,000 | 567,400 | △167,400 | ソフト・ウェア-購入等 |
| (3) 研究委嘱費 | 1,800,000 | 1,900,000 | △100,000 | 研究員委嘱費 |
| 2. 調査研究活動費 | 500,000 | 33,180 | 466,820 | 研究活動諸費 |
| 合 計 | 3,500,000 | 3,190,980 | 309,020 | |

差引残高 311,707円

会 計 監 査 報 告 書

1983年6月17日

神奈川県地方自治研究センター

代 表 理 事 殿

監 事 神 保 和 雄 ㊟

1982年度の神奈川県地方自治研究センターの会計について監査をした結果、次のとおり報告します。

1. 監査年月日と場所

1983年6月17日 自治研センター会議室

2. 監査対象年月日

1982年6月1日～1983年5月31日

3. 監 査 対 象

会計諸帳簿, 伝票, 現金, 預金, 会員台帳お

よび図書目録

4. 監 査 結 果

監査対象について細部にわたり厳正に監査した結果、係数的に正確であり、一般的に適正なる会計措置がなされ、各帳票類・現金・預金など良好なる管理がなされていることを認めます。

5. 指 摘 事 項

決算状況全体をみて、個人・団体会費の減収がみられます。会費の収入がセンター運営の基本をなすものであり、より積極的な会費の徴収と会員の拡大の努力をはたすことと同時に会費引上げの検討が必要と思われます。

第1号議案

1983年度 事業計画(案)

6年間の研究活動の実績をふまえながら、不十分さを補いつつさらに研究活動を推進したいと考えます。事務局運営に関して多くの会員から積極的なご協力を期待しながら、今年度の事業を執行したいと思っております。また、事業内容の拡大にともなって必要経費も増加したことから、より一層会員の拡大をはかりたいと考えていますので、皆さまのご協力をお願いします。

1. 調査活動

(1) 資料の収集

各自治体の行政執行方針、予算・決算書を中心に、統計・広報などの刊行物を収集します。また自治体に関する文献や定期刊行物を購入し資料とします。これら資料を整理保管すると同時に図書目録として発刊することをめざしながら会員の閲覧に供します。

資料を継続的に収集するため、各自治体で協力を得られる会員の獲得活動をすすめていきます。

(2) 調査活動

自治体の予算・決算等の資料を中心に、各市町村ごとに類似自治体間の見やすい比較統計資料を作成します。住民意識調査や自治体職員意識調査をするための検討をおこないます。また会員の依頼等をうけた自治体行財政の実態調査などを行なっていきます。

こうした調査活動を基礎にすえながら、各自治体ごとの基本モデル作りに着手し、地域の特性を把握しながら、政策研究のデータ蓄積を行っていきます。

2. 研究活動

(1) 基本研究活動

国と自治体との関係、県と市町村との関係における予算上や事業執行上のながれを調査し、そこにおける問題点や住民とのかかわりを明らかにするための分析研究をすすめます。具体的には企画委員会を対象とする事業内容やテーマを設定し、長期間かけた総合的な研究活動の中心として規定していきます。

今年の中心的課題は昨年に引続き「行政改革」であると判断できることから、国・地方を通ずる行財政制度改革と自治体革新のあり方などをとりあげて調査研究をすすめていきます。

(2) 問題別研究

各自治体の政策、財政状況、福祉・生活環境・公営企業などの行政実態を問題別、テーマ別にプロジェクトをくみ調査研究を行ないます。これらは必要に応じて研究委託することもあり、自治体独自の研究課題に援助を行なうことも検討します。

特に、行政部門別の研究だけでなく課題別研究を中心にすすめてすすめたいと考えます。そのため、「高齢化社会」「地方財政」「地域政治構造」「婦人問題」「地域経済」などの研究会を継続して開いていきます。研究活動が実践活動と連動できるよう努力を行っていきます。

(3) 政策研究

民主的な自治体政策を推進するための政策研究を行ないます。政策研究会を開き、各方面

からの意見を聞くと同時に、住民自治確立にむけての研究をつづけていきます。

具体的には、地域生活の中で人間らしく生きるための運動の発展をめざして「地域生活闘争」がすすめられています。この活動を支援するための政策研究をすすめます。県評との共同研究のテーマとしても引続いて研究を進展させます。

(4) 研究者ネットワークづくり

学者・議員・自治体関係者や自治労幹部活動家などの自治体問題に関する研究者のネットワークづくりをおこない、自治研センターが事務局としての役割をはたしながら、地域における研究活動の促進をはかります。

また、各地域の市政調査会や自治研究会との連携をふかめ、必要に応じて共同研究などを行っています。同時に各自治体ごとに自治研究をすすめる拠点としての自治研センター（調査会）づくりへの助言や援助も行っています。

3. 教育活動

(1) 現代地方自治講座

地方自治の基本原則、自治体行財政の構造とその改革の方向などについての公開講座を開きます。大都市、湘南、県央など会場を移しながら、研究講師団を中心にして県内外の学者を招き入れて開催していきます。

(2) 地方自治スクーリング

自治体改革をすすめていくための重要な任務をもつ議員、活動家を対象とした宿泊講座（地方自治スクーリング）を開催できるように協議検討を続けます。自治研運動のすすめ方や、行財政研究の実践にあたっての基礎講座として位置づけ、活動家養成をはかっていきます。

(3) セミナー等の開催など

問題別研究の成果の発表会や、時宜に適した

テーマによるセミナー、シンポジウム、討論集会などを適宜開催します。

また各組合や団体などで開催する自治研集会、学習講演会などについて会員の依頼をうけ講師等をあっせんし、必要に応じて研究講師団の派遣をおこないます。

4. 出版活動

(1) 自治研かながわ月報の発行

会員に対して資料の紹介や事業内容を中心とした「自治研かながわ月報」を隔月発行とします。また月報の特集号で適宜研究成果の発表を行なっていきます。

さらに月報を読みやすくし、会員以外にも購読してもらえる内容にするために編集委員会をより一層拡充しながら、内容の充実につとめます。

(2) 月刊自治研の配布

会員に対して自治労本部発行の「月刊自治研」を自治体問題に関する資料として、引続き月報とあわせて無料で配布します。

(3) 出版事業

主要な研究課題の研究成果や調査分析の結果を、さらに自治体政策についての論文集などを出版できるようにし、調査資料集などの編集を含めた出版事業の準備をすすめます。

また、会員からの要望をうけて、自治体白書づくりや自治体政策パンフづくりなどの協力を行っています。

5. その他

(1) 県政総合研究センター構想との関連

県評の構想する「神奈川県政総合研究センタ

一」(仮称)については、当面設立にむけての調査をすすめることになっています。当自治研センターの年間の活動研究のうえにたつて、この県評構想の実現についての話し合いを継続します。当面県評との共同研究「地域生活運動研究会」をはじめとして共同作業をすすめながら、新たな研究テーマの設定を含めて企画委員会で検討を加え、連携を深めていきます。

また、労働団体のもつ研究機構(例えば教育文化研究センター)との連携するための話し合いをすすめ、労働者・学者・研究者の連携と共同研究の場の拡大につとめます。

(2) 会員の拡大

82年度末の会員は、団体131口・個人314口であり、昨年と比べわずかながら減少をみせ目標に及ばなかったわけです。自治体関係者や自治体労働者の参加は多いものの地域的なアンバランスが多くみられます。自治体革新をすすめるうえで多くの会員が必要であり、労働団体・地区労などの協力をあおぎながら今年度は団体250口、個人600口を目標に会員拡大の努力を続けます。具体的には新年度の理事会で拡大のための方法を検討し、行動にうつします。

(3) 機関会議の充実

この6年間で、理事会が21回、企画委員会が6回開かれましたが、事務局の責任執行の面が多くみられ機関会議の充実が必要です。専任の事務局研究体制を補完する意味から、研究員の委嘱をしましたが、さらに昨年度よりも充実した編集会議の開催など、事務局体制の強化をはかります。同時に理事の任務分担などを明らかにしながら、調査・研究活動の充実と機関運営の充実などにつとめます。

(4) 会費の引上げ

80年1月に個人会費の引上げをお願いして以来、3年が経過しました。また団体会費は設立以来引上げをしていませんでした。自治研センターの活動内容の拡充のため会員拡大の努力は当然のことですが、会費の引上げがやむを得ない状況となりました。総会での規約改正の議決をお願いしながら、団体会員等との協議を重ね、引上げの実施時期を84年1月以後の納入者からとしたいと考えます。よろしくご協力いただけるようお願いいたします。

第2号議案

規約改正(案)

(一線は部分改正点)

(名称)

第1条 この団体は、神奈川県地方自治研究センター(以下センターという)と称し、事務所を横浜市中区におく。

(目的)

第2条 このセンターは、神奈川における自治および都市問題に関する総合的な研究機関として、自治体関係者、学識経験者ならびに住民・労働者の交流によって、広範な政策構想を充実させ、住民と密着した民主的自治体行政を推進することを目的とする。

(事業)

第3条 このセンターは、前条の目的達成のため次の事業を行う。

- (1) 自治体行財政の関係資料の収集
- (2) 自治体行財政に関する調査と分析
- (3) 民主的自治体行政を推進するための政策研究
- (4) 自治意識の向上をはかるための啓蒙普及活動
- (5) その他前条の目的達成のために必要と認める事業

(会 員)

第4条 このセンターは、目的に賛同する個人および団体によって構成する。

(会 費)

第5条 このセンターの会費はつぎのとおりとし、加入口数については制限しない。

- (1) 個人会員 月額1口 500円
- (2) 団体会員 月額1口 1,500円
- (3) 特別会員 年額1口 500,000円

(役員等)

第6条 このセンターにつぎの役員をおく。

- (1) 代表理事 若干名
- (2) 理 事 若干名
- (3) 事務局長 1名
- (4) 事務局次長 1名
- (5) 監 事 若干名

2. 役員は総会において選出するが、代表理事は理事の互選による。

3. 役員のほか、研究活動・事業の企画等を円滑におこなうため、理事会の承認を得て顧問、研究講師団、企画委員および研究員（いずれも若干名）を選任することができる。

(職 務)

第7条 代表理事はこのセンターを代表し、所務を総括する。

2. 理事は理事会を構成し、所務の執行を決定する。

3. 事務局長は代表理事事故あるときこれを代行し、所務の企画・運営を執行する。

4. 事務局次長は事務局長を補佐し、企画・運営・財政を担当する。

5. 監事は会計事務を監査する。

6. 顧問は研究活動等の相談に応じる。

7. 研究講師団は研究課題別に専門的研究をおこなう。

8. 企画委員は研究課題と事業を企画・実践する。

9. 研究員は研究講師団を補佐し、研究をおこなう。

(任 期)

第8条 役員等の任期は1年とし、再任をさま

たげない。

(機関等)

第9条 このセンターに総会、理事会をおき、代表理事が機関を招集する。また理事会の承認を得て事務局長は企画委員会を招集することができる。

2. 総会は個人・団体（2口につき1名）・特別（1口につき3名）の会員をもって構成し、事業計画の決定、事業報告の承認のほか、このセンターの運営に関する重要な事項を議決するため、年1回開催する。

3. 理事会は理事をもって構成し、代表理事を互選し、総会の議決した事業の執行、研究者等の選任をおこなうほか、センターの運営・執行に関する事項を決定するため、随時開催する。

4. 企画委員会は企画委員をもって構成し、理事会の決定する研究・事業を企画し実践する。

(議 決)

第10条 機関等は定員の過半数をもって成立し出席者の過半数の同意をもって決するものとする。

(財政・会計年度)

第11条 このセンターの財政は、会費、事業収入、寄付金およびその他の収入によって財源とし、会計年度を6月1日から5月31日までとする。

(改 廃)

第12条 この規約は総会の議を経て改廃する。

(附 則)

1. この規約は1977年6月4日から施行する。

2. この規約は1978年6月17日から改正施行する。

3. この規約は1980年1月1日から改正施行する。

4. この規約は1984年1月1日から改正施行する。

第3号議案

予 算 (案)

2. 調査研究事業会計

〈収入の部〉

〈1983. 6. 1～1984. 5. 31〉 (単位 円)

| 科 目 | 82年度予算 | 83年度予算 (案) | 増 △ 減 | 摘 要 |
|--------------|-----------|---------------|-----------|---------------------------------------|
| 1. 一般会計より繰入金 | 1,200,000 | 2,000,000 | 800,000 | 調査活動費 50万 研究活動費 140万 その他事業費 10万 |
| 2. 調査研究委託収入 | 1,800,000 | 2,800,000 | 1,000,000 | 地域生活圏闘争 自治労県本部より |
| 3. その他事業収入 | 500,000 | 500,000 | 0 | 分析作業等 委託収入 |
| 4. 繰 越 金 | 0 | 311,707 | 311,707 | |
| 合 計 | 3,500,000 | 5,611,707 | 2,111,707 | |

〈支出の部〉

| 科 目 | 82年度予算 | 83年度予算 (案) | 増 △ 減 | 摘 要 |
|------------|-----------|---------------|-----------|------------------|
| 1. 調査研究総務費 | 3,000,000 | 4,700,000 | 1,700,000 | |
| (1) 機器借入費 | 800,000 | 1,400,000 | 600,000 | リース代 @10万×12他 |
| (2) 研究開発費 | 400,000 | 500,000 | 100,000 | ソフト開発費 |
| (3) 研究委嘱費 | 1,800,000 | 2,800,000 | 1,000,000 | @20×14 研究員委嘱費 |
| 2. 調査研究活動費 | 500,000 | 800,000 | 300,000 | 研究活動諸費 |
| 3. 予 備 費 | 0 | 111,707 | 111,707 | |
| 合 計 | 3,500,000 | 5,611,707 | 2,111,707 | |

1. 一般会計

〈収入の部〉

〈1983. 6. 1～1984. 5. 31〉（単位 円）

| 科 目 | 82年度予算 | 83年度予算 (案) | 増 △ 減 | 摘 要 |
|-----------|------------|---------------|----------|-------------------|
| 1. 会 費 | 11,900,000 | 12,400,000 | 500,000 | |
| (1)個人会費 | 2,400,000 | 2,400,000 | 0 | @ 400×500口×12ヶ月 |
| (2)団体会費 | 3,000,000 | 3,000,000 | 0 | @ 1,000×250口×12ヶ月 |
| (3)特別会費 | 6,500,000 | 7,000,000 | 500,000 | @ 50万×14口 |
| 2. 調査委託収入 | 1,500,000 | 1,700,000 | 200,000 | 県評など |
| 3. 寄 附 金 | 10,000 | 10,000 | 0 | |
| 4. 繰 越 金 | 754,358 | 57,391 | △696,967 | |
| 5. 雑 収 入 | 10,000 | 10,000 | 0 | |
| 6. 借 入 金 | 1,000,000 | 1,000,000 | 0 | 運転資金借入 |
| 合 計 | 15,174,358 | 15,177,391 | 3,033 | |

〈支出の部〉

| 科 目 | 82年度予算 | 83年度予算 (案) | 増 △ 減 | 摘 要 |
|-----------|-------------|-------------------------------------|-----------|-----------------|
| 1. 事務局費 | 3,800,000 | 4,300,000 | 500,000 | |
| (1)事務所費 | 2,300,000 | 2,800,000 | 500,000 | 家賃・XEROXレンタル代など |
| (2)事務費 | 200,000 | 200,000 | 0 | 事務用品代 |
| (3)通信費 | 1,000,000 | 1,000,000 | 0 | 郵便料・電話料 |
| (4)雑 費 | 300,000 | 300,000 | 0 | 諸雑費 |
| 2. 会議旅費 | 1,300,000 | 1,300,000 | 0 | 昨年同額 |
| (1)会議費 | 500,000 | 500,000 | 0 | " |
| (2)旅 費 | 800,000 | 800,000 | 0 | " |
| 3. 事業費 | 8,700,000 | (6,550,000) 8,550,000 | △150,000 | |
| (1)調査活動費 | 1,600,000 | (1,300,000) 1,800,000 | 200,000 | 昨年の実績を見込む |
| (2)研究活動費 | 2,700,000 | (1,200,000) 2,600,000 | △100,000 | " |
| (3)教育活動費 | 300,000 | 100,000 | △200,000 | " |
| (4)月刊自治研費 | 1,400,000 | 1,400,000 | 0 | 昨年同額 |
| (5)出版事業費 | 2,500,000 | 2,500,000 | 0 | " |
| (6)その他事業費 | 200,000 | (50,000) 150,000 | △50,000 | 昨年の実績を見込む |
| (繰出金) | (1,200,000) | (2,000,000) | (800,000) | |
| 4. 借入金返済 | 1,000,000 | 1,000,000 | 0 | 昨年同額 |
| 5. 予 備 費 | 374,358 | 27,391 | △346,967 | |
| 合 計 | 15,174,358 | 15,177,391 | 3,033 | |

()内は繰出金を除く実予算額

第4号議案

役員改選

| 役職名 | 氏名 | 区分 | 摘要 |
|------|--------|-------|--------------|
| 代表理事 | 清水 嘉治 | 学識経験者 | 神奈川県大学 |
| 〃 | 新田 俊三 | 〃 | 東洋大学 |
| 〃 | 横山 桂次 | 〃 | 中央大学 |
| 理事 | 越智 昇 | 〃 | 横浜市大 |
| 〃 | 緒形 昭義 | 〃 | 横浜国大 |
| 〃 | 渡辺 精一 | 〃 | 神奈川県大学 |
| 〃 | 斉藤 正 | 〃 | 県会議員 |
| 〃 | 成島 敏行 | 〃 | 〃 |
| 〃 | 諸星 充司 | 労働団体 | 県評議長 |
| 〃 | 吉川 清 | 〃 | 地区労代表者会議事務局長 |
| 〃 | 竹中 康文 | 〃 | 電機労連県地協議長 |
| 〃 | 水沼 勇三 | 〃 | 新産別県地協議長 |
| 〃 | 岩佐 晴夫 | 〃 | 神奈川県労連 |
| 〃 | 郷内 隆 | 〃 | 横浜市労連委員長 |
| 〃 | 今川 貞徳 | 〃 | 川崎市労連副委員長 |
| 〃 | 青柳 昇 | 〃 | 横須賀市労連特別執行委員 |
| 〃 | 長谷川 文隆 | 自治労 | 県本部自治研推進委員長 |
| 〃 | 福田 利久 | 〃 | 横浜市従副委員長 |
| 〃 | 大山 久人 | 〃 | 川崎市職労副委員長 |
| 〃 | 金井 正志郎 | 〃 | 藤沢市職労書記長 |
| 事務局長 | 大園 房雄 | 〃 | 県本部委員長 |
| 〃次長 | 上林 得郎 | 〃 | 〃 オルグ |
| 監事 | 竹田 邦明 | 労働団体 | 県評財政部長 |
| 〃 | 神保 和雄 | 自治労 | 県本部財政部長 |

企画委員

〔参考〕

横山桂次（代表理事）
高野博司（自治労県本部書記長）
研究員 佐藤孝治

布川 昇（県評事務局長）
中村勝美（県評事務局長次長）
事務局長 大野純子

(参考)

研究講師団名簿

アイウエオ順

| 氏名 | 所属 | 専門分野 | 住所 | TEL | 備考 |
|-------|------------|----------|------------------------------|--------------|-------|
| 清水 嘉治 | 神奈川県大学 | 経済学 | 横浜市港南区港南台2-9-10 | 045(832)0079 | 代表理事 |
| 新田 俊三 | 東洋大学 | " | 鎌倉市稲村ヶ崎5-35-11 | 0467(31)5147 | " |
| 根山 桂次 | 中央大学 | 地域政治 | 座間市ひばりが丘1丁目5545-9 | 0462(53)9431 | " |
| 越智 昇 | 横浜市大 | 社会学 | 横浜市金沢区釜利谷町3639-42 夏山団地6-13 | 045(782)5791 | 理事 |
| 精形 昭義 | 横浜国大 | 建築工学 | " 磯子区汐見台3-5-422 | " (751)2647 | " |
| 渡辺 精一 | 神奈川県大学 | 地方財政論 | 東京都日野市多摩平3-9-17 | 0425(84)5354 | " |
| 相原 光 | 横浜市大 | 国際経済学 | 横浜市金沢区釜利谷町723-4 | 045(781)9752 | 研究講師団 |
| 伊藤 喜栄 | 慶応大学 | 経済地理 | 海老名市さつき町1, 9-503 | 0462(31)9062 | " |
| 今井 清一 | 横浜市大 | 政治史 | 横浜市港北区錦ヶ丘22-2 | 045(421)4380 | " |
| 一杉 哲也 | " | 経済・財政学 | " 磯子区岡村町326 | " (751)5095 | " |
| 井手 文雄 | 日本大学 | 財政学 | " " 森5-8-37 | " (751)4932 | " |
| 宇野 峰雪 | 神奈川総合法律事務所 | 弁護士 | " 港南区上大岡東1-6-28 | " (841)5182 | " |
| 小黒 聡 | フェリス学院大 | 教育学 | " " 日野町つぐみ団地18-106 | " (831)6998 | " |
| 片桐 薫 | 藤沢市立図書館 | 国際経済学 | " 緑区青葉台1-18-3 | " (981)9879 | " |
| 河村十寸穂 | 横浜国大 | 社会学 | " 磯子区森1-15-1-910 | " (752)2754 | " |
| 柿内 義明 | 神奈川総合法律事務所 | 弁護士 | " " 上中里町1028-1912 | | " |
| 鎌形 寛之 | 自治労法律相談所 | " | 鎌倉市梶原1157-30 | 0467(46)0750 | " |
| 風間 龍 | 関東学院大学 | 経済学 | 鎌倉市由比が浜1-4-18 | " (22)7167 | " |
| 久場 嬉子 | 東京学芸大 | " | 横浜市戸塚区鳥が丘96-7 | 045(864)8387 | " |
| 小池 貞夫 | 京浜協立法律事務所 | 弁護士 | 川崎市川崎区砂子2-8-1 シャンボール川崎砂子801号 | 044(211)5135 | " |
| 小林 晃 | 神奈川県大学 | 経済・財政学 | 横浜市旭区上白根町西ひかりが丘団地16-5-304 | 045(951)9166 | " |
| 佐藤 司 | " | 行政法 | 三浦郡葉山町一色530-9 | 0468(75)5283 | " |
| 佐藤 俊一 | 群馬大学 | 地域政治 | 千葉県八千代市八千代台西9-20-7 | 0474(82)2178 | " |
| 滝沢 正樹 | 関東学院大学 | 社会学 | 東京都世田谷区中町1-9-21 | 03(701)8665 | " |
| 嶋田 正泰 | " | 地方財政 | 横浜市磯子区汐見台2703-312 | 045(752)4832 | " |
| 中西 準子 | 東京大学 | 水質・下水道 | 松戸市常盤平5-28-5-710 | 0473(84)5466 | " |
| 富田富士雄 | 関東学院大学 | 社会学 | 横浜市金沢区平碓町31 金沢八景ハイム2-811 | 045(701)6174 | " |
| 原田 清司 | 横浜市大 | 憲法・行政法 | 茅ヶ崎市旭ヶ丘13-32 | 0467(85)0278 | " |
| 松尾 均 | 日本女子大 | 社会政策(医療) | 川崎市高津区二子135 | 044(822)5697 | " |
| 三野研太郎 | 横浜法律事務所 | 弁護士 | 横浜市港南区上永谷町4248の238 | 045(662)2226 | " |
| 宮川 武雄 | 創価大学 | 経済学 | 横浜市港北区篠原東2-6-22 | " (421)3779 | " |
| 三沢 浩 | 横浜国大 | 建築工学 | 東京都千代田区千駄ヶ谷3-1-7 三沢事務所 | 03(404)6544 | " |
| 山内 敏雄 | 北海道道政調査会 | 地方自治 | 北海道帯広市南町南7線25-87 | 0151(48)5571 | " |
| 横田 克己 | 生活クラブ生協 | 消費経済 | 横浜市緑区市が尾1161の8 | 045(971)2171 | " |
| 木村 敬 | 長洲一二と県民の会 | 地方政治 | 横須賀市二葉2-24-20 | 0468(41)1962 | " |

顧問団名簿

| 役職名 | 氏名 | 役職名 | 氏名 |
|---------------|--------|-----------|--------|
| 神奈川県知事 | 長洲 一二 | 衆議院議員 | 岩垂 寿喜男 |
| 川崎市市長 | 伊藤 三郎 | " | 加藤 万吉 |
| 藤沢市市長 | 葉山 峻 | " | 大出 俊 |
| 社会党中央本部委員長 | 飛鳥田 一雄 | 参議院議員 | 竹田 四郎 |
| 自治労本部自治研推進委員長 | 藤井 照生 | 社会党県本部委員長 | 片岡 勝治 |
| 衆議院議員 | 伊藤 茂 | | |

各地の地方自治研究センター・研究所

| 名 称 | 住 所 | 電 話 |
|--------------------------|--|--------------------|
| 地方自治総合研究所 | 東京都千代田区六番町2-15 自治労第2会館内 | 03-264-5924 |
| 地方自治センター (全国革新市長会事務局) | 東京都千代田区隼町2-18 浅井ビル | 03-265-2775 |
| 北海道地方自治研究所 | 札幌市中央区北6条西7丁目 自治労会館内 | 011-742-4666 |
| 青森県地方自治センター | 青森市本町5-9-3 自治センター内 | 0177-76-2989 |
| 岩手地方自治研究センター | 盛岡市大通1-1-16 岩手教育会館内 | 0196-22-9311 |
| 福島地方自治研究所 | 福島市荒町1-21 協働会館4F | 0245-21-1728 |
| 栃木県地方自治研究センター | 宇都宮市塙田1-1-20 県庁内 自治労栃木県本部内 | 0286-22-6225 |
| 埼玉県地方自治労働問題研究所 | 埼玉県川越市砂新田1777-9 | 0492-45-9174 |
| 新潟県自治研究センター | 新潟市白山浦1丁目613-69 自治労会館 | 0252-31-2271 |
| 東京自治研究センター | 東京都千代田区六番町2-15 自治労第2会館 | 03-234-0241 |
| 長野県地方自治研究センター | 長野市県町532の3 労働会館内 | 0262-34-7744 |
| 富山県地方自治研究センター | 富山市新総曲輪3-2 | 0764-41-0375 |
| 岐阜県地方自治研究センター | 岐阜市七軒町25 刈谷ビル3F 自治労岐阜県本部内 | 0582-65-3135 |
| 奈良県地方自治研究センター | 奈良市大宮町7-1-57 | 0742-34-5501 |
| 兵庫地方自治研究センター | 神戸市生田区中山手通3-4-8 大東ビル内 | 078-392- 1961~2 |
| 広島地方自治研究センター | 広島市西区横川新町7-22 自治労会館内 | 082-295-1337 |
| 島根地方自治研究センター | 松江市中原町14 島根自治労会館内 | 0852-26-3331 |
| 徳島地方自治研究所 | 徳島市万代町1-1 県庁内 | 0886-23-2175 |
| 高知県自治研究センター | 高知市本町4-1-33 自治労高知県本部内 | 0888-24-0151 |
| 福岡県地方自治研究センター | 福岡市中央区天神5-4-12 福岡県住宅 生協ビル6F 自治労福岡県本部内 | 092-721-1414 |
| 佐賀県地方自治研究センター | 佐賀市城内1-1-59 自治労県本部内 | 0952-26-6141 |
| 大分県地方自治研究センター | 大分市大手通3-2-9 自治労大分県本部内 | 0975-36-6644 |
| 長崎県地方自治研究センター | 長崎市桜町9-6 地区労会館内 自治労長崎県本部内 | 0958-24-1938 |
| 宮崎県地方自治問題研究所 | 宮崎市広島1丁目11-16 労働福祉会館別館内 | 0985-28-2611 |
| 鹿児島県地方自治研究所 | 鹿児島市山下町 県庁内 自治労鹿児島県本部気付 | 0992-26-7311 |
| 沖縄県地方自治研究センター | 沖縄県那覇市旭町34 官公労共済会館内 | 0988-67-7050 |
| 川崎地方自治研究センター | 川崎市川崎区東田町5-1 市労連会館内 | 044-211-0003 |
| 相模原市政・市民センター | 相模原市中央3丁目6-6 トーエイビル3F | 0427-58-5911 |
| 京都市政調査会 | 京都市中京区河原町御池 京都市役所内 | 075-222-3881 |
| 大阪市政調査会 | 大阪市北区中之島1丁目 大阪市役所内 | 06-208-8722 |
| 高槻地方自治研究センター | 高槻市桃園町2-1 | 0726-74-7033 |

神奈川県地方自治研究センター 横浜市中区本町1-7 東ビル5F TEL045(201)1213

特 別 講 演

「83年政治決戦と地方自治」

—統一自治体選挙・参議院選挙の結果をどう見るか—

中央大学教授 横 山 桂 次

県自治研センターが選挙に関するかなり詳しい資料をつくりました。戦後のデータにさかのぼっていまコンピューターに入れておりますので、古い方の部分についてもおいおいデータが出てくると思いますが、いずれにしてもそういうデータを手がかりにしてさまざまな活動の1つの結果として出てくる選挙についてどう考えるかということ、ぜひ議論していただきたいと思ひます。

83年政治決戦ということが言われて、ことし2つの選挙が行われたわけです。この83年政治決戦は、言ってみれば中曽根政権がつくられて、その中曽根政権がわれわれ国民に対して決戦を求めるといふ意味合いだったと私は受け取っております。今日の政党政治は、私どもの言葉を使いますと大変衰弱をしております。いわば官僚政党の自民党が長期政権を続けていることで、かなり閉塞的な状況、固定化している状況が生まれてきています。

地方選挙、特に首長選挙を見ますと、たとえば保革連合とか、革新が選挙をやらない、特に社会党が選挙をやらないというような状況も残念ながらずっと続いております。ここ何回かの選挙を通じて非常にはっきりしてきたことは、首長選での政党の組み合わせについて原則がなくなったということです。これも地方の時代と言っているのですが、政党の組み合わせがそれぞれの地域の政党状況によってかなり変わってくるということです。これは後から申し上げますが、代表的には北海道の選挙と福岡の選挙でそれが見られたわけです。

このような今日の政治状況の中で首長選挙が行われる場合に、従来の社会党プラス共産党とか公明党、民社党とか、いわゆる革新共闘、革新連合、あるいは野党連合というもの、総評あるいは「明るい何々の会」という公式が、ほとんど有効性を持たなくなったのではないかと考えられます。

結局、お互いに交渉を持たない、あるいは選挙そのものが非常に運動の面から見て停滞していると、今日の閉塞的な状況が破れないわけです。そこに衝撃を与えることによって状況を変えることができるのであれば、その衝撃とはやはり新しい何かが必要ないわけではなないかと思ひます。その何かとは、私は多様な市民運動あるいは多様な市民の選挙への参加である、そういうものがない限りこの窮状は破れないのではないかと考えます。

今度の統一地方選挙で私の関心は3つございました。1つは北海道の選挙。これは私が1月中旬に全道の世論調査をやったのですけれども、従来の選挙のパターンを全く変えてしまった選挙だったという意味で注目をしたところです。

それからもう1つは福岡です。社共共闘で行われたのですが、福岡知事選の前に行われた北九州の市長選挙で市長に対する疑惑の問題が出て、もう1つ長期政権に対する批判がかなり強くなってきたということであり、これもかなり現職を追い詰めた選挙でした。その後の福岡県知事選挙はまさに同じような問題を抱えた選挙であったわけです。社共共闘というパターンでありますから、今ほとんど成功しなくなったパターンが、どうい

新しい選挙状況をつくり出せるかと注目しました。

3つ目は余り大きなことではないのですけれども、今後、私たちの地域政治の分析や運動を考えていく上で重要な問題になるであろうことであります。地方自治体に革新無所属の議員がかなり登場してきたということ。これはこの2・3回ぐらゐの地方選挙で出てきていますけれども、現在東京を中心にしまして、埼玉、千葉、神奈川あたりでほしい50人以上が議席を占めるようになってきているということです。これは自治政治の新しい波、傾向としては注目しなければいけないと考えます。ただ、革新無所属の選挙については私はデータをあまり持っておりませんので、ここに触れるのはやめたいと思いますが、問題点だけは指摘しておきたいと思ひます。

北海道と福岡の知事選挙

そこで北海道と福岡の知事選について2つの選挙で共通していることを申し上げます。北海道の場合ですと現職の後継者として登場した副知事を擁立する選挙組織は「道庁マシン」と言われています。これは北海道庁を中心にして14の各支庁とそれにつながる市町村をまず縦糸で結びつけたわけですね。もう1つは業者団体を横糸に結びつける。それからもう1つは道とさまざまな関係を持つ団体に道のOBが天下っておりまして、総体としてはそういう横糸と縦糸を結んだ選挙組織がある。これは前の堂垣内知事が選挙に初めて出たときにつくられ、それがだんだん保守なりの体制として打ち立ててきたものです。いずれにしてもその道庁マシンが前線で選挙を行ったという点であります。

福岡について申しますと、福岡県というのは恐らく全国で最も派手な企業選挙をやるところだと思いますが、私は道庁マシンと同じように企業マシンとして考えたい。まず福岡は九州の中心になるわけで、かなり大きな地元の企業があるわけですね。たとえば九州電力、西鉄、福岡銀行とかさまざまな地元の大きな企業のうち12社が中心になりまして、選挙にはここから人も金も出している。これが中心になって選挙の前面に出てくるわけですね。



さらに三菱、三井というビッグビジネスの支店がかなりございます。三菱ですと50近く、三井でも20以上あるのですが、そういうものが中心になります。

そのほかに、たとえば西鉄に資材を納入する業者とか、九電に機材を納入する業者はそれぞれ500～600ぐらいということで、大小あわせて6,000ぐらいの業者が選挙に加わるという選挙をやるところであります。

このように北海道では道庁マシン、福岡では企業マシンですが、これが保守の選挙運動の中心になるということは、たとえば北海道では自民党と民社党が保守側の候補者を推薦し、公明党は自由投票ということでどちらにも加わっていません。その自民党と民社党が選挙運動では道庁マシンの後ろに位置する。つまり政党が陰に隠れて道庁マシンが全面的に出てきた。福岡の場合にはやはり同じでして企業マシンが前面に出てきているということです。

それに対応して北海道の場合、社会党と全道労協（神奈川で言うと神奈川県評）が今回は後ろに後退しまして、選挙に参加したい市民が前面に出てくるという選挙をやっております。福岡の場合も社共とか福岡県評よりは、福岡の「県民の会」が前面に出て運動を展開していったという点が、まず共通点として指摘できることです。つまり従来のような政党が前面に出て選挙をやる、革新の方で申しますと社会党と総評系の組合が一体になって選挙を行うという選挙のパターンではないということです。これが1つ指摘しておく第1のことです。

そこで、北海道も福岡も非常に僅差で革新の側が勝ったわけでありますが、勝ち方ではそれぞれ違っていて、その違いを指摘したいと思います。

運動について何よりも指摘しておかなければいけないのは、北海道も福岡も、従来から毎回、革新側が組織を挙げて知事選を闘ってきたという実績があるということでありまして。この実績は後ろに下がろうと前へ出ようと関係なく、今回もやはり組織を挙げて急回転をしていく。これは後先になります。福岡・北海道の場合はこの地方選挙がそのまま参議院選挙にも連続しておりまして、どちらも社会党にかなりの集票力を示したことは御承知のとおりであります。

逆に神奈川県について言えば、知事選は今回を含めて2回、市長選も横浜市長選が2回、川崎も2回緊迫した首長選挙を闘っていないということが、今日の参院選あるいは地方選に何らかの因果関係を持っていると言わざるを得ないと思うのですが、また後で触れることにいたします。

まずこの2つの知事選の結果、革新が勝ったことについてどういう評価をするかは、そう簡単にはできないわけです。つまり従来の革新首長とはかなり性格が違ってきていますから、いろいろ検討しなければならぬ問題も残されているわけです。いずれにしても、1つには現在の自民政権に対して大きな衝撃を与えたことだけははっきりしております。もう1つ重要なことは、どちらも官僚首長の系統を断ち切ったところに大きな意味があると思います。北海道で言いますと、三上副知事は内務省、しかも警察官僚の出身であり、それから福岡もやはり官僚出身の亀井知事を破ったという意味で、どちらも現在非常に増加している官僚首長を断ち切ったということが、自治政治を考えていく上で大きな意味を持っていると考えております。

さて、北海道について特徴的に気のついた点だけを申し上げますと、全道労協が後ろ武者だった、つまり彼らの言葉では「黒子に徹した」と言っていますけれども、しかし選挙運動そのものは従来と同じようにかかなり徹底して行われておりました。ただ、勝手連というような新しく登場してきた市民の運動だけが大変目立っているわけです。実は

主として札幌、あるいは札幌を含めた第1区で特徴的なことは、たとえば「自然環境を守る市民運動」とか消費者運動とかいった運動が積極的に選挙に参加をしており、それが横路選対に重要な核となって運動をしている。この点は余り強調されていないのですが、重要な点だと指摘しておきたい。

それからもう1つ、勝手連についてはいろいろ評価があり、現地と東京の評価とはかなり食い違いがあります。私も東京の評価にはいささか疑問を持っています。まず勝手連が出てきたということは、やはり北海道だから出てきたといえるだろうと思います。結論的に言いますと勝手連というのはゲリラであり、選挙を攪乱するという意味を非常に強く持っていた。つまりゲリラがゲリラとして機能を発揮できるためにはまず本隊がちゃんとしていなければいけないわけです。その本隊は社会党、全道労協なのですが、これがちゃんとしながら後ろに下がるということで、ゲリラがゲリラとして自由に活動ができたということでありまして。

つまり、社会党と全道労協は勝手連に対しては最初は非常に戸惑いを感じましたし、これが集票能力があるのかどうか、横路選挙にどのくらいのプラスになるのかと大変戸惑いを感じたようであります。しかし、だんだんと勝手連の新しさと、しかもかなりエネルギーに運動するので、それからは勝手連にやりたいことを自由にやらせる。金は出すけれども一切口は出さないという方式をとったわけです。

たとえば、勝手連がどのようなことをやったかというのを2、3紹介します。たとえば、創価学会の機関紙の聖教新聞に勝手連の広告を出しました。その広告は勝手連が本を書きましてその本の広告をかなり大きなスペースで聖教新聞に載せたわけです。そしてその聖教新聞に載ったものを今度は大きなビラにしまして、北海道で大々的に広告をした。これは私が1月中旬にやった調査で、公明党支持者の大体50%が横路支持になっております。そういう一種のゲリラ、まさに攪乱するというゲリラです。

それから有名な雪祭りがありますが、1週間ぐらいの雪祭りの時期に40数本の勝手連のアドバ

ルーンを立てたのです。横路は「新開拓時代」というスローガンを掲げて登場したわけです。その「新開拓時代・勝手連」というアドバルーンを40数本上げた。あれは1本上げると150万円ぐらいかかるそうですが、私どもでは気のつかないゲリラ活動をやりました。

実はこの勝手連がその時期幾つぐらいできたのかは、全くつかめておりません。多く数える人は全道で数百できたと言われているのですが、勝手連をつくることに参画した裏の裏選対の人に話を聞きますと、よくわからんけれども20以上ということはないというようなことでありました。勝手連はそういう意味では1つの虚像をつくっていったと言えると思います。それが横路ルートをつくっていく上での1つの役割りを果たしたことは間違いないのですけれども、それ以上に相手の選挙運動を全く攪乱してしまったのです。

つまり、相手側は従来の自民党・道庁マシンと社会党・全道労協の対決という選挙パターンを想定しており、これなら絶対勝てる、しかも今回は共産党が独自に候補者を出すものですから相手は自信満々であった。ところが勝手連なるものが登場してきて、本当にやりたい放題のことをやる。初めはあんなものは票にならぬと、社会党と同じような判断をしたわけですが、だんだん気持ちが悪くなっていく。たとえば、すすき野勝手連というのは飲み屋がつくった勝手連です。この勝手連はすすき野のイメージアップのため横路に乗った方がいいか三上の方がいいかという判断から、勝手連をつくったと言われています。すすき野にエンペラーという一番大きなキャバレーがあるので、そこで2~3,000ぐらいの人を集めて歌舞伎座の舞台のように舞台の中央で横路をせり上がらせる。そういうことをすすき野の飲み屋がした。全く保守・道庁マシンの方は対応のすべがわからない。だんだん横路ブームが大きくなっていて新聞で見る限りでは横路支持がいつも先行している。どうしようかと、おくればせながら保守の勝手連をつくっていったわけです。これはさっぱり氣勢が上がらない。結果は道庁マシンをぎゅうぎゅうと締めつけるしか方法がなかったということなのです。

道庁マシンを締めつけるという段になると、市町村長あるいは14の支庁の方からだいたい現在の集票はこのくらいだという報告が入ってくる。ところが報告する方は堂垣内時代の集票の数字を報告してくる。なぜそうするかといいますと、もしそれより低い数字を報告しますともっと集票しろと上からぎゅうぎゅう締められることになるわけです。道庁マシンの下の組織がそういうことをやったということには、もう1つ理由があり、今度の選挙は“ひょっとすると負けるかもしれない”という気持ちがだんだん出てきたということなのです。いずれにしても勝手連について言えば相手の選挙運動を攪乱していったという効果の方が大きかったのではないかと私は見ております。

それからもう1つは、今度の東京の社会党の参議院地方区の闘い方というものと比べて、非常に対照的だと思うのですけれども、社会党、全道労協ともいわゆる右と左の対立というものはあるわけです。しかし、この対立は道の社会党大会や東京でやる社会党大会のときにはしのぎを削るのですが、いざ選挙になるとこれが挙党体制を組み選挙をやるという伝統を持っているわけです。これは総選挙の選挙区で、複数候補を立てて当選させてくるという実績も大いに関係していると思いますし、それから一時は道内の30幾つかの市のうち半数を革新がとってきたという実績にも関係があると思います。社会党・全道労協が選挙をやる場合には内部的な対立はないわけです。

たとえば、今回の選挙も勝手連が自由にやりそれを選対が認めるとか、市民が先頭に立って社会党・全道労協が後ろに下がるという選挙は今までかつて経験したことがないわけですから、初めは一線で運動をしていく若い人たちには非常に抵抗があったようです。横路候補は社会党の内部では右派だと言われる人ですけれども、最初は左派の人たちにわだかまりがあったようですけれども最終的には挙党体制で選挙を闘ったわけです。それは、やはり“この機会を逃がしたら当分は首長はとれない。恐らく最後のチャンスではないか”。あるいは“24年目のチャンスだ”というような気持ちが幹部活動家に危機感としてあったようです。いずれにしても従来の選挙のパターンを社会党・全道労

協が変えたということ、これが1つ大変重要な点だと考えられます。

それから福岡について申しますと、やはり従来の福岡県知事選には見られなかった新しい革新側の力が働いています。これは、亀井知事が地域開発の事業を通じてかなり疑惑を持たれてきたということ。それからもう1つは、例の6億をかけた知事公舎をつくり、私用部分に県費を流用しているという疑惑が報道されたということがありました。

この問題について県評が昨年の7月に反金権政治の署名運動を行っています。この段階で亀井知事は5期目の出馬をする声明をしているわけです。ところが革新側の候補者はその段階では決まらないうで、まず署名運動が始まった。この運動は県評によって行われたわけですが、北九州や福岡よりはむしろ福岡県の中都市、小都市の方に非常に署名が集まった。特に亀井の強力な地盤であると言われている福岡市や筑豊というところでも非常に署名が集まった。その署名運動に、従来の県評運動の中で全く射程の中に入らなかった自民党の支持者とか無党派とかいう人々が非常に積極的に署名活動に参加した。結局72万の署名を集めているわけですが、これは非常に有効な選挙運動だったわけです。

やっと12月になって奥田さんに決まり、本格的に選挙運動が始まったわけですが、結局奥田選挙はこの署名運動を基礎にして行われたということ。署名運動で新しく参加してきた保守系あるいは支持政党なしという人々が、特に女性が非常に積極的だったと言われております。自ら選挙運動にも進んで参加してくるということで、結局署名運動でたくさん署名が集まった地域ほど奥田の票が大きかった。

北海道でもそうですが、政党レベルで票を計算する人は全く初めからけんかにならない。横路知事は不可能を可能にしようと言って登場したわけですが、福岡もやはり同じですね。両方、

スタイルは違うのですけれども、市民が選挙に登場し参加するという動機がまずあるということ、そういう仕掛けをしたり状況をつくり出していくという力がこちら側にあるということがポイントなのですね。そういう2つの選挙を見ておりました非常に強く感じるのは、北海道は北海道なりに、福岡は福岡なりにいわゆる地方の時代の選挙をやっていると考えられます。

参議院選挙

それから参議院選挙について申し上げます。まず第一に指摘しなければいけないのは、参議院に比例区を導入したというのは全く初めから誤りである。これは初めから言われていることですから



ここではほとんど話しません。ただ、比例区の採用によって自民党と社会党は多少恩恵を受けているということで、間違いなく1議席か2議席ぐらい恩恵を受けている。特にドント方式というやり方で恩恵を受けている。単純比例でやりますともう少し議席が減るかもしれないですね。

それからもう1つ、比例区を掲げてきたことによってなお一層はっきりしたのは、地方区がいかにか自民党にとって有利な選挙制度になっているかということです。傾向として言えることは、自民党の支持率、社会党の支持率がずっと引き続いて落ちているということが挙げられましょう。1965年から総選挙と参議院選挙のデータがありますが、自民党も社会党も一貫してずっと得票率を下げています。これは総選挙の場合も参議院選挙の場合も全く同じなのです。

ほかの政党については、公明党はだいたい1968年

ぐらいの時期に戻しております。だからその時期を基点に考えますとそれほど大きくなっていない。少しですが大きくなってきているのは民社の比例区ですね。これは2%近く上昇しているが大して変わりがない。自民党と社会党だけが非常にはっきり低下傾向が出てきている。

ただ、80年のダブル選挙は確かに異常な選挙でありまして、その前の77年の選挙の段階にどちらの政党も得票率を落したと考えていいと思います。ただ社会党にとって問題なのは埼玉、東京、神奈川、愛知、京都、大阪、兵庫のいわゆる大都市圏と言われている地域で敗戦をしたというのは御承知のとおりなのです。ここで自民党と社会党は一貫して、自民党の場合兵庫と愛知が例外ですが、そのほかのところでは自民党はずっと低落を続けております。社会党の場合も京都だけが例外で高く来ているのですけれども、あとはずっと下がり続けてきているということです。これは地方区についてそういう指摘ができます。これは大きな問題として考えなければいけないのではないかと。

私が参議院選挙に応援演説に出かけまして、非常に間接的に選挙を見たわけです。そのほか数字を見たり人の話を聞いたりしていろいろ感じているわけです。民社と公明の選挙協力はほぼ100%近く達成している。前回、前々回は民社の候補者を公明が協力をするという形で選挙をやっているわけですけれども、これはかなり社会党に迫ったのですが届かないということで過去2回来ているわけですが、今回、公明党の候補者にかえて選挙協力をした。これは総選挙において5区で総評事務局長が立候補することになった。それに対する河村勝氏は民社の候補者でかつて国鉄の理事です。富塚事務局長は国鉄の出身でしたから、そこで労使が対立となるわけです。そのこともありまして恐らく公明党の候補者を民社がかかえることにしたのでと考えられるわけです。

逆に類推をし社会党の得票率を見ておきますと、恐らく次の総選挙では1人ないし2人は確実に落ちるのではないかというのが、私の現在の予測でございます。もちろんこれは現状をそのまま引き伸ばしてということでありまして、状況が変わ

れば別であります。そしてまた変えなくてはいけないわけですが、状況をどう変えるかということが問題の焦点になってくると思います。

もちろんそれから、社会党の県会議員あるいは大都市の市会議員も今後ふえていく可能性というのは全くないとデータでは読めるわけでありまして。

これからの社会党は

最後に社会党の問題点といいますか、そういうことに簡単に触れておきたいと思います。現在、社会党は飛鳥田委員長が辞任する事態になっておりますが、社会党が今後選択をする道は2つあるということです。

1つは、官公労政党に徹する、ということですが、あるいは総評政党に徹するということでありまして、徹しても恐らく現在の衆議院、参議院の議員をあわせてほしい70ぐらいには変わるだろうと言われております。

ところが仮りにこの道を選んだとしても、現在総評系労働組合内部で社会党の支持率は徐々に低下をしております。ですから70の議席も確保できるという保証はないわけです。得票率あるいは議員の減少は非常に徐々にしか起こっていない。100がいきなり20になるということではない。し

表1 比例区の党派別得票

| 中央選挙区 | | 得票率 (%) | 当選者 |
|-------|------------|---------|-----|
| 得票数 | | | |
| 自民 | 16,441,437 | 35.33 | 19 |
| 社会 | 7,590,331 | 16.31 | 9 |
| 公明 | 7,314,465 | 15.72 | 8 |
| 共産 | 4,163,877 | 8.95 | 5 |
| 民社 | 3,888,429 | 8.36 | 4 |
| サラリー | 1,999,244 | 4.30 | 2 |
| 福祉 | 1,577,630 | 3.39 | 1 |
| 自ク連 | 1,239,169 | 2.66 | 1 |
| 二院ク | 1,142,349 | 2.45 | 1 |
| 無党派 | 509,104 | 1.09 | 0 |
| 平和 | 155,448 | 0.33 | 0 |
| 諸派 | | | |
| 勝手連 | 205,630 | 0.44 | |
| 自党ク | 102,925 | 0.22 | |
| 教育 | 79,033 | 0.17 | |
| 日本 | 40,518 | 0.09 | |
| 雑民 | 36,703 | 0.08 | |
| 世直し | 34,715 | 0.07 | |
| 浄堂会 | 15,921 | 0.03 | |

表 2

党派別の全当選者

| 比例代表区 | | | | | 合 計 | 改選 計 | 地方区 | | | | | 非改選 | 新勢力 | 選挙前 | | | | | | | |
|-------|----|---|---|----|--------|---------|-----|----|----|----|----|--------|-----|--------|-----|----|----|-----|-----|-----|----|
| 計 | 現 | 元 | 新 | 落 | | | 計 | 現 | 元 | 新 | 落 | | | | | | | | | | |
| 19 | 11 | 0 | 8 | 20 | 68 | 66 | 49 | 30 | 2 | 17 | 45 | 69 | 137 | 134 | | | | | | | |
| 9 | 6 | 1 | 2 | 9 | 22 | 26 | 13 | 7 | 2 | 4 | 17 | 22 | 44 | 48 | | | | | | | |
| 8 | 2 | 0 | 6 | 9 | 14 | 14 | 6 | 4 | 1 | 1 | 5 | 12(13) | 26 | 26(27) | | | | | | | |
| 5 | 3 | 1 | 1 | 3 | 7 | 5 | 2 | 1 | 1 | 0 | 2 | 7 | 14 | 12 | | | | | | | |
| 4 | 3 | 0 | 1 | 3 | 6 | 5(6) | 2 | 1 | 0 | 1 | 2 | 5(6) | 11 | 10(12) | | | | | | | |
| 1 | 1 | 0 | 0 | 2 | 2 | 4(5) | 1 | 1 | 0 | 0 | 2 | 0(1) | 2 | 4(6) | | | | | | | |
| 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 2 | 2 | | | | | | | |
| 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 2 | 1 | | | | | | | |
| 1 | 1 | 0 | 0 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | | | | | | | |
| 2 | 0 | 0 | 2 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | | | | | | | |
| 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | | | | | | |
| 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 2 | 1 | 2 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 2 | 1 | | | | | | | |
| | | | | 1 | 1 | 2 | 1 | 1 | 0 | 0 | 1 | 5 | 6 | 7 | | | | | | | |
| 50 | | | | | 27 | 2 | 21 | 49 | 計 | | | | | 126 | 123 | 欠3 | | | | | |
| | | | | | | | | | 76 | | | | | 46 | 7 | 23 | 74 | 123 | 249 | 246 | 欠3 |

<補人 比例代表区 8人 地方区 2人>
 <注> 公明、民社、自ク連のカッコ内は参院内会派の数。党派分類は選挙時の所属に従ったため、参院内会派と一致しない。

たがってショックが小さいということもあり、責任の所在、あるいは組織運動の問題点がこれまでそれほど大きくクローズアップされてこなかった。徐々に減っているということについても社会党の内部の人たちがかなり気分的には楽な気持ちではないだろうか。つまり安住しているのではないだろうか。そうまず指摘できるのではないか。

つまり、それなりに小さくまとまってしまっているということが問題で、仮にその道を選ぶとしますと社会党はもはや野党のリーダーシップをとることができなくなるわけであり、言ってみれば野党の数ある政党のただ1つに過ぎないということでもあります。

それからもう1つの選択の道は、社会党が市民と連帯できる条件をつくれるか、つくらないか。それはつくれる、つくらないは別としまして、つくらなければならない。つまり、国民政党になろうという選択の方法が1つある。そのためには大変いろいろな問題があります。よく言われる、体

質改善ということを幾ら繰り返してもしようがないわけです。結局1人1人の社会党員あるいは社会党の積極的な支持者が、市民と連帯できるという実践をそれぞれの地域でいかに実施していくか。あるいはそういう運動に参加していくということを通じて訓練を受ける。正しい訓練を経験することしか極端な言い方をしますとどうもないのではないかと。

たとえば、今度の参議院選挙の神奈川についても、指定席だという安心感があつたのではないかと思います。しかし、少なくとも社会党を支持する神奈川県評の労働組合がどれだけ積極的に動いたのかという問題があるだろうと思います。これはそういうふうを感じるの恐らく私だけではないだろうと思います。

いま、地域生活運動から

それからいま労働組合が地域運動を進めていくにはどうするかということで、いろいろな運動をやっている市民の方々からヒヤリングをやっている

るわけですが、そのヒヤリングの中で出てきた象徴的な事例がありますので1つ申し上げます。たとえば市民がある地域でいろんな団体を集めて1つの運動、組織ができる。そこには市職労というような形で参加をするわけですが、ところが参加というよりアライブづくりに過ぎない。集会にはほとんど顔を出さない。ですから、いま市民が何を考えているか、何をやっているのかということを知ろうとしないという態度というのは大きな問題だということです。つまりアライブづくりなんか幾らやっても効果がないということです。

そういうことから変えていくということになりますと気が遠くなる話なのです。しかしそういう方法をとらない限り社会党はますます小さくなるだけであって、市民から見放されていくだろうと思います。

いま自治労あるいは総評が、地域生活圏闘争という運動を提起し、現在それを売り込んでいるわ

けです。しかし、これも単なるスケジュール闘争であったり、あるいは思いつきで終わってはならないと思います。自分たちだけでわかる言葉で話をしたり、アライブづくりで市民の意見を聞くだけの態度であってはならない。地域での生活課題は、生活者としての課題であり、労働者の課題でもあるのです。この課題をとりあげその課題を解決させるための運動を起こすことは、地域住民の要求を請負って闘いをすすめることではありません。

地域の中から、生活の中から、自分たちの生き方・暮らし方を見つめなおし、生活課題の解決のために、息の長い闘いをすすめるうえで、地域住民と労働組合とがどう連帯できるかが焦点となります。そのことと、新たな地域運動の展開と、地域政治における政党の役割とがもう一度問い直されてくると思っています。

(講演内容を再録したものであり、文責は編集者にあります)

地方区確定得票

(改選数2)
(候補者数15)

| | | | | | |
|---|---------|----------|-------|----|-----|
| 当 | 688,049 | (26.65%) | 服部 信吾 | 40 | 公 新 |
| 当 | 529,445 | (20.51%) | 杉元 恒雄 | 62 | 自●新 |
| ▽ | 508,767 | (19.71%) | 河野 剛雄 | 48 | 無 新 |
| ▽ | 477,919 | (18.51%) | 片岡 勝治 | 68 | 社 現 |
| ▽ | 301,459 | (11.68%) | 小泉 初恵 | 41 | 共 新 |
| | 26,422 | (1.02%) | 大野 奮江 | 44 | 諸 新 |
| | 11,488 | (0.44%) | 佐藤みちよ | 51 | 諸 新 |
| | 7,655 | (0.30%) | 高橋 貞美 | 48 | 諸 新 |
| | 7,241 | (0.28%) | 牧野 守一 | 60 | 無 新 |
| | 6,337 | (0.25%) | 松永 攻 | 39 | 諸 新 |
| | 4,140 | (0.16%) | 白根登志夫 | 34 | 諸 新 |
| | 3,940 | (0.15%) | 箕浦 一雄 | 50 | 無 新 |
| | 3,908 | (0.15%) | 伊藤実知子 | 38 | 諸 新 |
| | 3,179 | (0.12%) | 加藤 南枝 | 47 | 諸 新 |
| | 1,877 | (0.07%) | 清野文五郎 | 70 | 諸 新 |

〈注〉得票数の後のカッコ内は得票率。
▽印は法定得票数を得た者

〈比例代表区の県内得票〉

| 政党名 | 得票数 | 得票率 |
|------|---------|--------------|
| 自 民 | 590,093 | 22.67 (28.2) |
| 社 会 | 366,070 | 14.07 (11.6) |
| 公 明 | 452,804 | 17.40 (12.8) |
| 共 産 | 228,703 | 8.79 (8.8) |
| 民 社 | 262,348 | 10.08 (9.4) |
| 自ク連 | 221,854 | 8.52 (4.6) |
| 無党派 | 36,557 | 1.41 (—) |
| 二院ク | 103,164 | 3.96 (—) |
| 福 祉 | 111,089 | 4.27 (—) |
| サラリー | 184,754 | 7.10 (—) |
| 平 和 | 9,192 | 0.35 (—) |
| 諸 派 | 35,941 | 1.38 (—) |

〈注〉①諸派は自由超党派クラブ、田中角栄を政界から追放する勝手連、日本国民政治連合、雑民党、教育党、世界浄霊会、日本世直し党の合計
②カッコ内は前回の全国区得票率。自ク連は新自くと社民連の合計。ほかに諸派(自、社、公、共、民、自ク、社民以外の党派) 3.5%、無所属21.1%

資料2 神奈川県 党派別得票数の動き 1983年参院選地方区の結果

| | 1983(地) 有権者数 | 1983(地) 投票者数 | 1983(地) 有効投票 | 1983(地) 社会党 | 1983(地) 公明党 | 1983(地) 民社党 | 1983(地) 共産党 | 1983(地) 自民党 | 1983(地) 新自々 | 1983(地) その他 |
|--------|-----------------|-----------------|-----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| 神奈川県 | 14,952,831 | 2,642,258 | 2,581,826 | 477,919 | 688,049 | 0 | 301,459 | 529,445 | 508,767 | 76,187 |
| 横浜見区 | 2,004,067 | 1,066,065 | 1,042,943 | 202,570 | 282,165 | 0 | 124,103 | 229,846 | 172,641 | 31,618 |
| 神奈川西中区 | 146,482 | 75,391 | 73,604 | 12,649 | 19,977 | 0 | 9,765 | 16,798 | 12,304 | 2,111 |
| 神奈川中区 | 61,089 | 34,050 | 33,338 | 5,583 | 11,128 | 0 | 3,026 | 8,800 | 4,132 | 669 |
| 神奈川北区 | 88,467 | 44,540 | 43,725 | 5,824 | 11,170 | 0 | 3,877 | 16,961 | 5,014 | 879 |
| 神奈川緑区 | 191,830 | 96,014 | 93,884 | 15,722 | 24,336 | 0 | 10,400 | 22,620 | 17,350 | 3,456 |
| 1区計 | 214,709 | 106,570 | 104,274 | 20,855 | 23,923 | 0 | 12,124 | 23,028 | 20,518 | 3,826 |
| 2区計 | 873,283 | 444,587 | 434,877 | 74,726 | 116,901 | 0 | 51,290 | 107,444 | 70,868 | 13,648 |
| 南港南区 | 141,559 | 75,945 | 74,367 | 12,820 | 22,163 | 0 | 8,006 | 17,255 | 12,356 | 1,767 |
| 保土ヶ谷区 | 129,203 | 70,879 | 69,363 | 13,814 | 18,766 | 0 | 8,147 | 13,316 | 13,084 | 2,236 |
| 旭区 | 127,497 | 69,219 | 67,697 | 14,232 | 19,353 | 0 | 8,450 | 13,539 | 10,154 | 1,969 |
| 磯子区 | 150,600 | 84,795 | 83,012 | 18,076 | 23,215 | 0 | 9,799 | 15,722 | 13,839 | 2,361 |
| 磯子区 | 113,202 | 62,111 | 60,672 | 12,376 | 16,183 | 0 | 6,179 | 13,017 | 11,159 | 1,758 |
| 磯子区 | 114,973 | 65,079 | 63,582 | 12,938 | 16,463 | 0 | 7,024 | 13,667 | 11,353 | 2,137 |
| 磯子区 | 279,690 | 151,540 | 148,351 | 33,942 | 37,595 | 0 | 19,660 | 28,642 | 23,855 | 4,657 |
| 磯子区 | 74,060 | 41,910 | 41,022 | 9,646 | 11,526 | 0 | 5,548 | 7,244 | 5,973 | 1,085 |
| 4区計 | 1,130,784 | 621,478 | 608,066 | 127,844 | 165,264 | 0 | 72,813 | 122,402 | 101,773 | 17,970 |
| 川崎市 | 742,133 | 383,114 | 374,213 | 65,409 | 103,499 | 0 | 60,209 | 77,787 | 54,402 | 12,907 |
| 川崎市 | 143,033 | 76,975 | 75,155 | 10,963 | 23,643 | 0 | 14,077 | 15,949 | 8,297 | 2,226 |
| 幸区 | 98,235 | 53,267 | 52,058 | 9,224 | 15,465 | 0 | 8,392 | 11,638 | 5,890 | 1,449 |
| 中原区 | 133,373 | 68,567 | 66,932 | 11,644 | 18,228 | 0 | 10,199 | 14,148 | 10,309 | 2,404 |
| 中津区 | 102,229 | 50,284 | 49,177 | 9,017 | 15,125 | 0 | 7,313 | 9,586 | 6,499 | 1,637 |
| 宮前区 | 97,828 | 49,445 | 48,257 | 9,349 | 12,793 | 0 | 7,105 | 9,355 | 7,738 | 1,917 |
| 厚生区 | 100,385 | 49,416 | 48,305 | 8,669 | 11,787 | 0 | 7,904 | 9,818 | 8,328 | 1,799 |
| 多摩区 | 67,050 | 35,160 | 34,329 | 6,543 | 6,458 | 0 | 5,219 | 7,293 | 7,341 | 1,475 |
| 横須賀市 | 301,864 | 164,458 | 159,954 | 28,249 | 45,356 | 0 | 14,744 | 33,463 | 33,301 | 4,841 |
| 鎌倉市 | 127,109 | 67,485 | 65,868 | 11,137 | 12,262 | 0 | 7,914 | 14,610 | 17,847 | 2,098 |
| 鎌倉市 | 42,646 | 23,780 | 23,198 | 3,833 | 4,639 | 0 | 2,419 | 4,602 | 7,050 | 595 |
| 山崎町 | 20,605 | 10,483 | 10,247 | 1,609 | 1,928 | 0 | 927 | 2,305 | 3,209 | 269 |
| 三浦市 | 35,089 | 16,429 | 15,947 | 1,759 | 4,504 | 0 | 1,969 | 3,453 | 3,934 | 328 |
| 2区計 | 1,269,446 | 655,749 | 649,427 | 111,996 | 172,248 | 0 | 88,182 | 136,220 | 119,743 | 21,038 |
| 藤沢市 | 215,404 | 113,821 | 111,461 | 21,041 | 26,554 | 0 | 12,516 | 18,937 | 29,511 | 2,902 |
| 茅ヶ崎市 | 121,974 | 65,554 | 64,281 | 12,153 | 15,877 | 0 | 7,091 | 10,234 | 17,276 | 1,650 |
| 相模原市 | 303,685 | 155,465 | 152,010 | 28,486 | 43,004 | 0 | 18,019 | 31,150 | 26,012 | 5,339 |
| 大和市 | 114,502 | 58,842 | 57,609 | 10,823 | 16,921 | 0 | 6,705 | 10,551 | 10,547 | 2,062 |
| 海老名市 | 55,941 | 31,462 | 30,691 | 6,967 | 7,605 | 0 | 3,418 | 5,524 | 6,316 | 861 |
| 座間市 | 64,724 | 36,210 | 35,241 | 6,089 | 11,326 | 0 | 3,781 | 6,426 | 6,584 | 1,035 |
| 綾瀬市 | 43,573 | 24,855 | 24,151 | 4,479 | 6,930 | 0 | 2,432 | 5,094 | 4,467 | 749 |
| 寒川町 | 24,822 | 13,831 | 13,463 | 2,138 | 4,854 | 0 | 1,185 | 2,082 | 2,081 | 323 |
| 津久井郡計 | 39,701 | 24,472 | 23,825 | 4,445 | 5,536 | 0 | 2,025 | 5,455 | 5,837 | 527 |
| 城山町 | 11,243 | 6,859 | 6,700 | 1,379 | 1,728 | 0 | 662 | 1,464 | 1,302 | 165 |
| 津久井町 | 15,194 | 8,931 | 8,686 | 1,467 | 2,176 | 0 | 789 | 1,741 | 2,304 | 209 |
| 相模湖町 | 6,292 | 4,106 | 4,002 | 733 | 744 | 0 | 292 | 955 | 1,213 | 65 |
| 藤野町 | 6,972 | 4,576 | 4,437 | 866 | 868 | 0 | 282 | 1,295 | 1,018 | 88 |
| 3区計 | 984,326 | 524,512 | 512,732 | 96,621 | 138,607 | 0 | 57,172 | 95,453 | 109,431 | 15,448 |
| 平塚市 | 151,890 | 83,460 | 81,606 | 14,008 | 21,805 | 0 | 7,304 | 11,345 | 25,620 | 1,524 |
| 小田原市 | 127,749 | 68,508 | 66,924 | 13,134 | 16,861 | 0 | 5,115 | 10,253 | 20,329 | 1,232 |
| 野市 | 86,180 | 47,355 | 46,248 | 10,176 | 10,870 | 0 | 3,875 | 8,250 | 11,956 | 1,121 |
| 厚木市 | 104,839 | 55,562 | 54,266 | 7,785 | 15,496 | 0 | 5,303 | 11,705 | 12,304 | 1,673 |
| 伊勢原市 | 48,363 | 27,492 | 26,826 | 4,158 | 6,088 | 0 | 2,359 | 5,917 | 7,626 | 678 |
| 南足柄市 | 28,049 | 16,137 | 15,769 | 3,860 | 3,344 | 0 | 1,151 | 2,508 | 4,643 | 263 |
| 愛甲郡計 | 24,218 | 13,116 | 12,821 | 1,350 | 3,886 | 0 | 1,021 | 3,279 | 2,995 | 290 |
| 愛川町 | 21,855 | 11,863 | 11,594 | 1,216 | 3,568 | 0 | 927 | 2,909 | 2,698 | 276 |
| 清村 | 2,363 | 1,253 | 1,227 | 134 | 318 | 0 | 94 | 370 | 297 | 14 |
| 中郡計 | 41,671 | 24,451 | 23,819 | 4,285 | 4,600 | 0 | 2,284 | 4,020 | 8,181 | 449 |
| 大磯町 | 22,025 | 12,922 | 12,551 | 2,166 | 2,446 | 0 | 1,068 | 2,145 | 4,491 | 235 |
| 二宮町 | 19,646 | 11,529 | 11,268 | 2,119 | 2,154 | 0 | 1,216 | 1,875 | 3,690 | 214 |
| 足柄上郡計 | 41,908 | 26,105 | 25,362 | 5,468 | 5,424 | 0 | 1,932 | 5,053 | 7,028 | 457 |
| 中井町 | 6,111 | 3,546 | 3,475 | 593 | 691 | 0 | 313 | 829 | 1,011 | 38 |
| 大井町 | 9,134 | 5,644 | 5,498 | 1,060 | 1,232 | 0 | 445 | 1,149 | 1,504 | 108 |
| 松田町 | 9,071 | 5,603 | 5,371 | 1,293 | 1,151 | 0 | 395 | 997 | 1,450 | 85 |
| 山北町 | 10,251 | 6,691 | 6,518 | 1,459 | 1,265 | 0 | 504 | 1,220 | 1,938 | 132 |
| 開成町 | 7,341 | 4,621 | 4,500 | 1,063 | 1,085 | 0 | 275 | 858 | 1,125 | 94 |
| 足柄下郡計 | 40,125 | 23,746 | 23,083 | 2,503 | 6,655 | 0 | 1,658 | 5,596 | 6,270 | 401 |
| 箱根町 | 14,022 | 8,643 | 8,422 | 724 | 2,403 | 0 | 604 | 2,441 | 2,084 | 166 |
| 真鶴町 | 7,320 | 4,645 | 4,504 | 601 | 1,486 | 0 | 315 | 816 | 1,234 | 52 |
| 湯河原町 | 18,783 | 10,458 | 10,157 | 1,178 | 2,766 | 0 | 739 | 2,339 | 2,952 | 183 |
| 5区計 | 694,992 | 385,932 | 376,724 | 66,727 | 95,029 | 0 | 32,002 | 67,926 | 106,952 | 8,088 |

得票率

| 1983(地) | 1983(地) | 1983(地) | 1983(地) | 1983(地) | 1983(地) | 1983(地) | |
|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|-----------|
| 社会党 | 公明党 | 民社党 | 共産党 | 自民党 | 新自ク | その他 | |
| 18.51 | 26.65 | 0.00 | 11.68 | 20.51 | 19.71 | 2.95 | 神奈川 県 |
| 19.42 | 27.05 | 0.00 | 11.90 | 22.04 | 16.55 | 3.03 | 横 浜 市 |
| 16.38 | 30.64 | 0.00 | 14.06 | 22.36 | 13.42 | 3.15 | 鶴 見 区 |
| 17.19 | 27.14 | 0.00 | 13.27 | 22.82 | 16.72 | 2.87 | 神奈川 区 |
| 16.75 | 33.38 | 0.00 | 9.08 | 26.40 | 12.39 | 2.01 | 西 区 |
| 13.32 | 25.55 | 0.00 | 8.87 | 38.79 | 11.47 | 2.01 | 中 区 |
| 16.75 | 25.92 | 0.00 | 11.08 | 24.09 | 18.48 | 3.68 | 港 北 区 |
| 20.00 | 22.94 | 0.00 | 11.63 | 22.08 | 19.68 | 3.67 | 緑 区 |
| 17.18 | 26.88 | 0.00 | 11.79 | 24.71 | 16.30 | 3.14 | 1 区 計 |
| 17.24 | 29.80 | 0.00 | 10.77 | 23.20 | 16.61 | 2.38 | 南 区 |
| 19.92 | 27.05 | 0.00 | 11.75 | 19.20 | 18.86 | 3.22 | 港 南 区 |
| 21.02 | 28.59 | 0.00 | 12.48 | 20.00 | 15.00 | 2.91 | 保 土 谷 区 |
| 21.78 | 27.97 | 0.00 | 11.80 | 18.94 | 16.67 | 2.84 | 旭 区 |
| 20.40 | 26.67 | 0.00 | 10.18 | 21.45 | 18.39 | 2.90 | 子 区 |
| 20.35 | 25.89 | 0.00 | 11.05 | 21.50 | 17.86 | 3.36 | 磯 金 区 |
| 22.88 | 25.34 | 0.00 | 13.25 | 19.31 | 16.08 | 3.14 | 戸 塚 区 |
| 23.51 | 28.10 | 0.00 | 13.52 | 17.66 | 14.56 | 2.64 | 瀨 谷 区 |
| 21.02 | 27.18 | 0.00 | 11.97 | 20.13 | 16.74 | 2.96 | 4 区 計 |
| 17.48 | 27.66 | 0.00 | 16.09 | 20.79 | 14.54 | 3.45 | 川 崎 市 |
| 14.59 | 31.46 | 0.00 | 18.73 | 21.22 | 11.04 | 2.96 | 川 崎 区 |
| 17.72 | 29.71 | 0.00 | 16.12 | 22.36 | 11.31 | 2.78 | 幸 区 |
| 17.40 | 27.23 | 0.00 | 15.24 | 21.14 | 15.40 | 3.59 | 中 原 区 |
| 18.34 | 30.76 | 0.00 | 14.87 | 19.49 | 13.22 | 3.33 | 高 津 区 |
| 19.37 | 26.51 | 0.00 | 14.72 | 19.39 | 16.03 | 3.97 | 宮 前 区 |
| 17.95 | 24.40 | 0.00 | 16.36 | 20.33 | 17.24 | 3.72 | 多 摩 区 |
| 19.06 | 18.81 | 0.00 | 15.20 | 21.24 | 21.38 | 4.30 | 麻 生 区 |
| 17.66 | 28.36 | 0.00 | 9.22 | 20.92 | 20.82 | 3.03 | 横 須 賀 市 |
| 16.91 | 18.62 | 0.00 | 12.01 | 22.18 | 27.10 | 3.19 | 鎌 倉 市 |
| 16.52 | 20.26 | 0.00 | 10.43 | 19.84 | 30.39 | 2.56 | 逗 子 市 |
| 15.70 | 18.82 | 0.00 | 9.05 | 22.49 | 31.32 | 2.63 | 三 浦 市 |
| 11.03 | 28.24 | 0.00 | 12.35 | 21.65 | 24.67 | 2.06 | 山 浦 区 |
| 17.25 | 26.52 | 0.00 | 13.58 | 20.98 | 18.44 | 3.24 | 2 区 計 |
| 18.88 | 23.82 | 0.00 | 11.23 | 16.99 | 26.48 | 2.60 | 藤 沢 市 |
| 18.91 | 24.70 | 0.00 | 11.03 | 15.92 | 26.88 | 2.57 | 茅 崎 市 |
| 18.74 | 28.29 | 0.00 | 11.85 | 20.49 | 17.11 | 3.51 | 相 模 原 市 |
| 18.79 | 29.37 | 0.00 | 11.64 | 18.31 | 18.31 | 3.58 | 大 和 市 |
| 22.70 | 24.78 | 0.00 | 11.14 | 18.00 | 20.58 | 2.81 | 海 老 名 市 |
| 17.28 | 32.14 | 0.00 | 10.73 | 18.23 | 18.68 | 2.94 | 座 間 市 |
| 18.55 | 28.69 | 0.00 | 10.07 | 21.09 | 18.50 | 3.10 | 綾 瀬 市 |
| 15.88 | 36.05 | 0.00 | 8.80 | 15.46 | 21.40 | 2.40 | 寒 川 町 |
| 18.66 | 23.24 | 0.00 | 8.50 | 22.90 | 24.50 | 2.21 | 津 久 井 郡 計 |
| 20.58 | 25.79 | 0.00 | 9.88 | 21.85 | 19.43 | 2.46 | 城 山 町 |
| 16.89 | 25.05 | 0.00 | 9.08 | 20.04 | 26.53 | 2.41 | 津 久 井 町 |
| 18.32 | 18.59 | 0.00 | 7.30 | 23.86 | 30.31 | 1.62 | 相 模 湖 町 |
| 19.52 | 20.01 | 0.00 | 6.36 | 29.19 | 22.94 | 1.98 | 藤 野 町 |
| 18.84 | 27.03 | 0.00 | 11.15 | 18.62 | 21.34 | 3.01 | 3 区 計 |
| 17.17 | 26.72 | 0.00 | 8.95 | 13.90 | 31.39 | 1.87 | 平 塚 市 |
| 19.63 | 25.19 | 0.00 | 7.64 | 15.32 | 30.38 | 1.84 | 小 田 原 市 |
| 22.00 | 23.50 | 0.00 | 8.38 | 17.84 | 25.85 | 2.42 | 秦 野 市 |
| 14.35 | 28.56 | 0.00 | 9.77 | 21.57 | 22.67 | 3.08 | 厚 木 市 |
| 15.50 | 22.69 | 0.00 | 8.79 | 22.06 | 28.43 | 2.53 | 伊 勢 原 市 |
| 24.48 | 21.21 | 0.00 | 7.30 | 15.90 | 29.44 | 1.67 | 南 足 柄 市 |
| 10.53 | 30.31 | 0.00 | 7.96 | 25.58 | 23.36 | 2.26 | 愛 甲 郡 計 |
| 10.49 | 30.77 | 0.00 | 8.00 | 25.09 | 23.27 | 2.38 | 愛 川 町 |
| 10.92 | 25.92 | 0.00 | 7.66 | 30.15 | 24.21 | 1.14 | 清 川 村 |
| 17.99 | 19.31 | 0.00 | 9.59 | 16.88 | 34.35 | 1.89 | 中 郡 計 |
| 17.26 | 19.49 | 0.00 | 8.51 | 17.09 | 35.78 | 1.87 | 大 磯 町 |
| 18.81 | 19.12 | 0.00 | 10.79 | 16.64 | 32.75 | 1.90 | 二 宮 町 |
| 21.56 | 21.39 | 0.00 | 7.62 | 19.92 | 27.71 | 1.80 | 足 柄 上 郡 計 |
| 17.06 | 19.88 | 0.00 | 9.01 | 23.86 | 29.09 | 1.09 | 中 井 町 |
| 19.28 | 22.41 | 0.00 | 8.09 | 20.90 | 27.36 | 1.96 | 大 井 町 |
| 24.07 | 21.43 | 0.00 | 7.35 | 18.56 | 27.00 | 1.58 | 松 田 町 |
| 22.38 | 19.41 | 0.00 | 7.73 | 18.72 | 29.73 | 2.03 | 北 成 町 |
| 23.62 | 24.11 | 0.00 | 6.11 | 19.07 | 25.00 | 2.09 | 開 成 町 |
| 10.84 | 28.83 | 0.00 | 7.18 | 24.24 | 27.16 | 1.74 | 足 柄 下 郡 計 |
| 8.60 | 28.53 | 0.00 | 7.17 | 28.98 | 24.74 | 1.97 | 箱 根 町 |
| 13.34 | 32.99 | 0.00 | 6.99 | 18.12 | 27.40 | 1.15 | 真 鶴 町 |
| 11.60 | 27.23 | 0.00 | 7.28 | 23.03 | 29.06 | 1.80 | 真 淵 原 町 |
| 17.71 | 25.23 | 0.00 | 8.49 | 18.03 | 28.39 | 2.15 | 5 区 計 |

資料3 神奈川県 党派別得票数の動き 1983年参院選全国区の結果(1)

| | 1983(全) 社会党 | 1983(全) 公明党 | 1983(全) 民社党 | 1983(全) 共産党 | 1983(全) 自民党 | 1983(全) 新自? | 1983(全) ワカ-ム党 | 1983(全) 福祉党 | 1983(全) 第二院 | 1983(全) 無党派 | 1983(全) 四党派外 |
|-------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|------------------|----------------|----------------|----------------|-----------------|
| 神奈川県 | 366,070 | 452,804 | 262,348 | 228,703 | 590,093 | 221,854 | 184,754 | 111,089 | 103,164 | 36,557 | 45,133 |
| 横浜市区 | 149,853 | 185,446 | 110,365 | 92,605 | 235,567 | 72,267 | 83,385 | 43,943 | 44,379 | 15,353 | 18,354 |
| 鶴見区 | 10,575 | 18,558 | 9,330 | 9,457 | 20,171 | 4,247 | 5,002 | 3,605 | 3,380 | 1,072 | 1,347 |
| 神奈川区 | 9,812 | 13,336 | 8,231 | 7,542 | 17,738 | 4,352 | 4,921 | 3,036 | 3,044 | 1,037 | 1,278 |
| 西区 | 4,663 | 6,897 | 3,428 | 2,485 | 8,836 | 1,863 | 1,649 | 1,356 | 1,251 | 423 | 503 |
| 中区 | 5,046 | 8,552 | 3,212 | 3,048 | 14,457 | 2,553 | 2,071 | 1,700 | 1,698 | 551 | 762 |
| 港北区 | 11,182 | 16,340 | 7,921 | 7,369 | 23,671 | 6,889 | 8,519 | 4,233 | 4,829 | 1,696 | 2,321 |
| 緑区 | 14,676 | 16,168 | 8,554 | 8,495 | 23,953 | 8,259 | 11,613 | 4,604 | 5,255 | 1,901 | 1,927 |
| 1区計 | 55,954 | 79,851 | 40,676 | 38,396 | 108,826 | 28,163 | 33,775 | 18,534 | 19,457 | 6,680 | 8,138 |
| 南港南区 | 9,853 | 16,009 | 6,094 | 6,276 | 17,821 | 6,436 | 4,357 | 2,907 | 2,728 | 897 | 1,313 |
| 保土ヶ谷区 | 10,358 | 11,483 | 7,772 | 5,869 | 13,794 | 6,436 | 6,185 | 2,894 | 2,925 | 1,060 | 1,213 |
| 旭区 | 11,120 | 13,303 | 6,510 | 6,267 | 14,616 | 3,876 | 4,790 | 2,926 | 2,773 | 883 | 1,135 |
| 磯子区 | 13,215 | 14,386 | 10,692 | 7,157 | 16,140 | 5,346 | 7,195 | 3,495 | 3,476 | 1,316 | 1,312 |
| 磯谷区 | 9,373 | 10,313 | 6,712 | 4,550 | 13,027 | 5,262 | 5,063 | 2,374 | 2,625 | 909 | 1,027 |
| 金戸区 | 9,252 | 9,635 | 8,593 | 5,086 | 14,030 | 4,690 | 5,511 | 2,610 | 2,690 | 898 | 1,152 |
| 戸塚区 | 23,363 | 22,836 | 18,716 | 14,712 | 29,222 | 9,964 | 13,644 | 6,501 | 6,136 | 2,177 | 2,396 |
| 4区計 | 7,365 | 7,630 | 4,600 | 4,292 | 8,091 | 2,094 | 2,845 | 1,702 | 1,563 | 533 | 668 |
| 川崎市 | 93,899 | 105,595 | 69,689 | 54,209 | 126,741 | 44,104 | 49,610 | 25,409 | 24,922 | 8,673 | 10,216 |
| 川崎市 | 49,324 | 76,084 | 26,353 | 45,710 | 83,441 | 24,900 | 26,606 | 16,328 | 17,137 | 5,650 | 6,638 |
| 幸区 | 8,878 | 18,153 | 5,570 | 11,555 | 17,457 | 3,637 | 2,900 | 3,094 | 2,589 | 713 | 1,154 |
| 中原区 | 7,467 | 11,706 | 3,974 | 6,545 | 11,806 | 2,860 | 2,438 | 2,299 | 1,963 | 595 | 864 |
| 高宮区 | 8,707 | 13,443 | 4,769 | 7,761 | 15,502 | 4,544 | 4,551 | 3,044 | 3,189 | 1,003 | 1,190 |
| 宮前区 | 6,831 | 11,304 | 3,093 | 5,511 | 10,382 | 3,026 | 3,312 | 2,227 | 2,313 | 788 | 846 |
| 多摩区 | 6,589 | 9,138 | 3,184 | 5,062 | 9,858 | 3,643 | 5,014 | 2,082 | 2,575 | 881 | 874 |
| 麻生区 | 6,351 | 8,218 | 3,289 | 5,736 | 10,780 | 3,704 | 4,206 | 2,109 | 2,544 | 950 | 989 |
| 須賀区 | 4,501 | 4,122 | 2,474 | 3,540 | 7,656 | 3,486 | 4,185 | 1,473 | 1,964 | 720 | 721 |
| 須賀区 | 21,939 | 28,427 | 22,076 | 11,045 | 37,894 | 17,572 | 8,015 | 5,699 | 4,634 | 1,589 | 2,709 |
| 鎌倉市 | 7,701 | 7,576 | 6,825 | 5,678 | 16,376 | 8,288 | 6,239 | 2,940 | 2,947 | 1,146 | 1,171 |
| 鎌倉市 | 2,754 | 2,791 | 2,531 | 1,725 | 5,793 | 3,218 | 1,936 | 891 | 987 | 349 | 439 |
| 三浦市 | 1,208 | 1,194 | 1,025 | 685 | 2,820 | 1,541 | 763 | 383 | 412 | 147 | 159 |
| 2区計 | 1,454 | 3,351 | 1,232 | 1,609 | 4,363 | 2,070 | 494 | 581 | 430 | 121 | 276 |
| 藤沢市 | 84,380 | 119,423 | 60,042 | 66,452 | 150,687 | 57,589 | 44,053 | 26,522 | 26,547 | 9,002 | 11,392 |
| 藤沢市 | 15,843 | 17,055 | 10,863 | 9,329 | 24,188 | 11,694 | 9,489 | 5,288 | 4,759 | 1,887 | 1,970 |
| 相模原市 | 9,387 | 10,393 | 5,566 | 5,183 | 13,097 | 7,521 | 5,367 | 3,035 | 2,667 | 1,221 | 1,147 |
| 大和市 | 21,487 | 28,911 | 13,834 | 13,846 | 34,284 | 11,471 | 11,285 | 7,157 | 6,400 | 2,220 | 2,530 |
| 海老名市 | 8,176 | 11,530 | 5,314 | 5,097 | 12,498 | 4,339 | 4,281 | 2,614 | 2,365 | 818 | 1,059 |
| 厚木市 | 5,010 | 4,584 | 3,420 | 2,607 | 6,889 | 2,401 | 2,510 | 1,408 | 1,188 | 460 | 511 |
| 綾瀬市 | 4,642 | 6,380 | 5,008 | 2,866 | 7,551 | 2,569 | 2,474 | 1,651 | 1,396 | 525 | 579 |
| 寒川町 | 3,647 | 4,402 | 2,803 | 1,749 | 6,090 | 1,548 | 1,523 | 1,098 | 833 | 302 | 394 |
| 津久井郡 | 1,845 | 2,726 | 2,189 | 942 | 2,764 | 1,139 | 626 | 604 | 366 | 145 | 210 |
| 山崎町 | 3,820 | 4,121 | 1,380 | 1,755 | 6,955 | 2,780 | 955 | 965 | 560 | 239 | 337 |
| 津久井町 | 1,097 | 1,205 | 468 | 544 | 1,650 | 646 | 424 | 320 | 214 | 86 | 86 |
| 相模湖町 | 1,292 | 1,650 | 492 | 664 | 2,395 | 1,086 | 320 | 382 | 210 | 83 | 150 |
| 野町 | 685 | 596 | 191 | 268 | 1,257 | 630 | 94 | 112 | 58 | 30 | 54 |
| 3区計 | 746 | 670 | 229 | 279 | 1,653 | 418 | 117 | 151 | 78 | 40 | 47 |
| 平塚市 | 73,857 | 90,102 | 50,377 | 43,374 | 114,316 | 45,562 | 38,510 | 23,820 | 20,534 | 7,817 | 8,737 |
| 小田原市 | 12,263 | 13,290 | 10,886 | 6,323 | 15,914 | 11,002 | 4,042 | 3,453 | 2,467 | 908 | 1,366 |
| 厚木市 | 11,708 | 10,851 | 6,296 | 4,369 | 14,745 | 9,122 | 2,874 | 3,039 | 2,073 | 729 | 1,204 |
| 伊勢原市 | 8,747 | 6,533 | 4,336 | 3,078 | 10,970 | 5,020 | 2,539 | 2,244 | 1,468 | 575 | 861 |
| 南足柄市 | 6,063 | 8,380 | 7,571 | 4,058 | 13,678 | 5,416 | 3,493 | 2,406 | 1,928 | 727 | 897 |
| 愛甲郡 | 3,470 | 3,587 | 2,908 | 1,792 | 7,150 | 3,627 | 1,574 | 1,237 | 825 | 317 | 487 |
| 愛川町 | 3,531 | 2,270 | 1,035 | 990 | 3,465 | 2,019 | 755 | 739 | 474 | 221 | 270 |
| 清川村 | 1,158 | 2,319 | 1,587 | 838 | 3,907 | 1,401 | 412 | 547 | 364 | 108 | 199 |
| 中郡 | 1,030 | 2,146 | 1,453 | 771 | 3,457 | 1,268 | 384 | 498 | 334 | 98 | 179 |
| 大井町 | 128 | 173 | 134 | 67 | 450 | 133 | 28 | 49 | 30 | 10 | 20 |
| 二大町 | 3,558 | 2,747 | 2,607 | 1,855 | 5,751 | 3,173 | 1,536 | 1,110 | 833 | 348 | 454 |
| 磯宮町 | 1,821 | 1,493 | 1,357 | 925 | 3,189 | 1,757 | 730 | 537 | 420 | 190 | 242 |
| 足柄上郡 | 1,737 | 1,254 | 1,250 | 930 | 2,562 | 1,416 | 806 | 573 | 413 | 158 | 212 |
| 中井町 | 5,034 | 3,142 | 2,658 | 1,664 | 6,653 | 3,069 | 886 | 990 | 627 | 228 | 461 |
| 大井町 | 550 | 393 | 312 | 266 | 1,003 | 487 | 147 | 123 | 81 | 25 | 68 |
| 松田町 | 935 | 736 | 558 | 374 | 1,487 | 641 | 246 | 223 | 163 | 55 | 106 |
| 山北町 | 1,136 | 691 | 573 | 363 | 1,389 | 593 | 174 | 209 | 133 | 51 | 107 |
| 開成町 | 1,426 | 649 | 829 | 437 | 1,662 | 816 | 150 | 231 | 132 | 55 | 106 |
| 足柄下郡 | 987 | 673 | 386 | 224 | 1,112 | 532 | 169 | 204 | 118 | 42 | 74 |
| 箱根町 | 2,448 | 4,714 | 1,680 | 1,305 | 7,290 | 2,587 | 695 | 1,039 | 645 | 224 | 451 |
| 真鶴町 | 751 | 1,719 | 485 | 483 | 2,918 | 998 | 210 | 389 | 210 | 77 | 164 |
| 湯河原町 | 551 | 1,059 | 379 | 246 | 1,164 | 481 | 157 | 205 | 113 | 43 | 89 |
| 5区計 | 1,146 | 1,936 | 816 | 576 | 3,208 | 1,108 | 328 | 445 | 322 | 104 | 198 |
| | 57,980 | 57,833 | 41,564 | 26,272 | 89,523 | 46,436 | 18,806 | 16,804 | 11,704 | 4,385 | 6,650 |

(2)

得票率

| 1983(全) 社会党 | 1983(全) 公明党 | 1983(全) 民社党 | 1983(全) 共産党 | 1983(全) 自民党 | 1983(全) 新自々 | 1983(全) 777-777党 | 1983(全) 福祉党 | 1983(全) 第二院 | 1983(全) 無党派 | 1983(全) 四党派外 | |
|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|---------------------|----------------|----------------|----------------|-----------------|-----------|
| 14.07 | 17.40 | 10.08 | 8.79 | 22.67 | 8.52 | 7.10 | 4.27 | 3.96 | 1.40 | 1.73 | 神奈川 県 |
| 14.25 | 17.64 | 10.50 | 8.81 | 22.40 | 6.87 | 7.93 | 4.18 | 4.22 | 1.46 | 1.75 | 横 浜 市 区 区 |
| 12.19 | 21.39 | 10.76 | 10.90 | 23.25 | 4.90 | 5.77 | 4.16 | 3.90 | 1.24 | 1.55 | 鶴 見 区 区 |
| 13.20 | 17.94 | 11.07 | 10.15 | 23.86 | 5.86 | 6.62 | 4.08 | 4.10 | 1.40 | 1.72 | 神 奈 川 区 区 |
| 13.98 | 20.68 | 10.28 | 7.45 | 26.49 | 5.59 | 4.94 | 4.07 | 3.75 | 1.27 | 1.51 | 西 区 区 |
| 11.56 | 19.59 | 7.36 | 6.98 | 33.12 | 5.85 | 4.74 | 3.89 | 3.89 | 1.26 | 1.75 | 中 区 区 |
| 11.77 | 17.21 | 8.34 | 7.76 | 24.92 | 7.25 | 8.97 | 4.46 | 5.09 | 1.79 | 2.44 | 港 北 区 区 |
| 13.92 | 15.34 | 8.12 | 8.06 | 22.72 | 7.84 | 11.02 | 4.37 | 4.99 | 1.80 | 1.83 | 緑 区 区 |
| 12.76 | 18.21 | 9.28 | 8.76 | 24.82 | 6.42 | 7.70 | 4.23 | 4.44 | 1.52 | 1.86 | 1 区 計 |
| 13.19 | 21.43 | 8.16 | 8.40 | 23.86 | 8.62 | 5.83 | 3.89 | 3.65 | 1.20 | 1.76 | 南 区 区 |
| 14.80 | 16.41 | 11.10 | 8.39 | 19.71 | 9.20 | 8.84 | 4.13 | 4.18 | 1.51 | 1.73 | 港 南 区 区 |
| 16.31 | 19.51 | 9.55 | 9.19 | 21.43 | 5.68 | 7.02 | 4.29 | 4.07 | 1.29 | 1.66 | 保 土 谷 区 区 |
| 15.78 | 17.18 | 12.77 | 8.55 | 19.28 | 6.38 | 8.59 | 4.17 | 4.15 | 1.57 | 1.57 | 旭 区 区 |
| 15.30 | 16.84 | 10.96 | 7.43 | 21.27 | 8.59 | 8.30 | 3.88 | 4.29 | 1.48 | 1.68 | 磯 谷 区 区 |
| 14.42 | 15.02 | 13.40 | 7.93 | 21.87 | 7.31 | 8.59 | 4.07 | 4.19 | 1.40 | 1.80 | 金 塚 区 区 |
| 15.61 | 15.26 | 12.51 | 9.83 | 19.52 | 6.66 | 9.12 | 4.34 | 4.10 | 1.45 | 1.60 | 戸 塚 区 区 |
| 17.79 | 18.43 | 11.11 | 10.37 | 19.55 | 5.06 | 6.87 | 4.11 | 3.79 | 1.29 | 1.61 | 瀨 谷 区 区 |
| 15.32 | 17.22 | 11.37 | 8.84 | 20.67 | 7.19 | 8.09 | 4.14 | 4.07 | 1.41 | 1.67 | 4 区 計 |
| 13.04 | 20.12 | 6.97 | 12.09 | 22.06 | 6.58 | 7.04 | 4.32 | 4.53 | 1.49 | 1.76 | 川 崎 市 区 区 |
| 11.73 | 23.98 | 7.36 | 15.26 | 23.06 | 4.80 | 3.83 | 4.09 | 3.42 | 0.94 | 1.52 | 川 崎 市 区 区 |
| 14.22 | 22.29 | 7.57 | 12.46 | 22.48 | 5.45 | 4.64 | 4.38 | 3.74 | 1.13 | 1.65 | 幸 原 区 区 |
| 12.86 | 19.86 | 7.04 | 11.46 | 22.90 | 6.71 | 6.72 | 4.50 | 4.71 | 1.48 | 1.76 | 中 津 区 区 |
| 13.76 | 22.78 | 6.23 | 11.10 | 20.92 | 6.10 | 6.67 | 4.49 | 4.66 | 1.59 | 1.70 | 高 津 区 区 |
| 13.47 | 18.69 | 6.51 | 10.35 | 20.16 | 7.45 | 10.25 | 4.26 | 5.27 | 1.80 | 1.79 | 宮 前 区 区 |
| 12.99 | 16.81 | 6.73 | 11.74 | 22.06 | 7.58 | 8.61 | 4.32 | 5.21 | 1.94 | 2.02 | 多 摩 区 区 |
| 12.92 | 11.83 | 7.10 | 10.16 | 21.97 | 10.01 | 12.01 | 4.23 | 5.64 | 2.07 | 2.07 | 麻 生 区 区 |
| 13.58 | 17.59 | 13.66 | 6.83 | 23.45 | 10.87 | 4.96 | 3.53 | 2.87 | 0.98 | 1.68 | 須 賀 市 市 |
| 11.57 | 11.38 | 10.25 | 8.53 | 24.59 | 12.45 | 9.37 | 3.96 | 4.43 | 1.72 | 1.76 | 鎌 倉 市 市 |
| 11.76 | 11.92 | 10.81 | 7.37 | 24.74 | 13.74 | 8.27 | 3.81 | 4.22 | 1.49 | 1.87 | 逗 子 市 市 |
| 11.69 | 11.55 | 9.92 | 6.63 | 27.28 | 14.91 | 7.38 | 3.71 | 3.99 | 1.42 | 1.54 | 三 浦 市 市 |
| 9.10 | 20.97 | 7.71 | 10.07 | 27.30 | 12.95 | 3.09 | 3.64 | 2.69 | 0.76 | 1.73 | 三 浦 市 市 |
| 12.86 | 18.20 | 9.15 | 10.13 | 22.97 | 8.78 | 6.71 | 4.04 | 4.05 | 1.37 | 1.74 | 2 区 計 |
| 14.10 | 15.18 | 9.67 | 8.30 | 21.53 | 10.41 | 8.44 | 4.71 | 4.24 | 1.68 | 1.75 | 藤 沢 市 市 |
| 14.51 | 16.07 | 8.60 | 8.01 | 20.25 | 11.78 | 8.30 | 4.69 | 4.12 | 1.89 | 1.77 | 茅 崎 市 市 |
| 14.00 | 18.84 | 9.02 | 9.02 | 22.35 | 7.48 | 7.36 | 4.66 | 4.17 | 1.45 | 1.65 | 相 模 原 市 市 |
| 14.07 | 19.85 | 9.15 | 8.77 | 21.51 | 7.47 | 7.37 | 4.50 | 4.07 | 1.41 | 1.82 | 大 原 市 市 |
| 16.17 | 14.79 | 11.04 | 8.41 | 22.23 | 7.75 | 8.10 | 4.54 | 3.83 | 1.48 | 1.65 | 海 老 名 市 市 |
| 13.02 | 17.90 | 14.05 | 8.04 | 21.19 | 7.21 | 6.94 | 4.63 | 3.92 | 1.47 | 1.62 | 座 間 市 市 |
| 14.95 | 18.05 | 11.49 | 7.17 | 24.97 | 6.35 | 6.24 | 4.50 | 3.42 | 1.24 | 1.62 | 綾 瀬 市 市 |
| 13.61 | 20.11 | 16.15 | 6.95 | 20.39 | 8.40 | 4.62 | 4.46 | 2.70 | 1.07 | 1.55 | 寒 川 町 町 |
| 16.01 | 17.27 | 5.78 | 7.35 | 29.14 | 11.65 | 4.00 | 4.04 | 2.35 | 1.00 | 1.41 | 津 久 井 郡 計 |
| 16.28 | 17.88 | 6.94 | 8.07 | 24.48 | 9.58 | 6.29 | 4.75 | 3.18 | 1.28 | 1.28 | 城 山 町 町 |
| 14.81 | 18.91 | 5.64 | 7.61 | 27.45 | 12.45 | 3.67 | 4.38 | 2.41 | 0.95 | 1.72 | 津 久 井 町 町 |
| 17.23 | 14.99 | 4.81 | 6.74 | 31.62 | 15.85 | 2.36 | 2.82 | 1.46 | 0.75 | 1.36 | 相 模 湖 町 町 |
| 16.85 | 15.13 | 5.17 | 6.30 | 37.33 | 9.44 | 2.64 | 3.41 | 1.76 | 0.90 | 1.06 | 藤 野 町 町 |
| 14.29 | 17.43 | 9.74 | 8.39 | 22.11 | 8.81 | 7.45 | 4.61 | 3.97 | 1.51 | 1.69 | 3 区 計 |
| 14.97 | 16.22 | 13.29 | 7.72 | 19.43 | 13.43 | 4.93 | 4.22 | 3.01 | 1.11 | 1.67 | 平 塚 市 市 |
| 17.47 | 16.19 | 9.40 | 6.52 | 22.00 | 13.61 | 4.29 | 4.54 | 3.09 | 1.09 | 1.80 | 小 田 原 市 市 |
| 18.86 | 14.09 | 9.35 | 6.64 | 23.66 | 10.83 | 5.48 | 4.84 | 3.17 | 1.24 | 1.86 | 秦 野 市 市 |
| 11.10 | 15.34 | 13.86 | 7.43 | 25.04 | 9.92 | 6.40 | 4.41 | 3.53 | 1.33 | 1.64 | 厚 木 市 市 |
| 12.86 | 13.30 | 10.78 | 6.64 | 26.51 | 13.45 | 5.84 | 4.59 | 3.06 | 1.18 | 1.81 | 伊 勢 原 市 市 |
| 22.39 | 14.40 | 6.56 | 6.28 | 21.97 | 12.80 | 4.79 | 4.69 | 3.01 | 1.40 | 1.71 | 南 足 柄 市 市 |
| 9.02 | 18.06 | 12.36 | 6.53 | 30.43 | 10.91 | 3.21 | 4.26 | 2.83 | 0.84 | 1.55 | 愛 甲 郡 計 |
| 8.87 | 18.47 | 12.51 | 6.64 | 29.76 | 10.91 | 3.31 | 4.29 | 2.87 | 0.84 | 1.54 | 愛 川 町 町 |
| 10.47 | 14.16 | 10.97 | 5.48 | 36.82 | 10.88 | 2.29 | 4.01 | 2.45 | 0.82 | 1.64 | 清 川 村 村 |
| 14.84 | 11.46 | 10.88 | 7.74 | 23.99 | 13.24 | 6.41 | 4.63 | 3.47 | 1.45 | 1.89 | 中 都 郡 計 |
| 14.38 | 11.79 | 10.72 | 7.31 | 25.19 | 13.88 | 5.77 | 4.24 | 3.32 | 1.50 | 1.91 | 大 二 町 町 |
| 15.36 | 11.09 | 11.05 | 8.22 | 22.65 | 12.52 | 7.13 | 5.07 | 3.65 | 1.40 | 1.87 | 宮 坂 町 町 |
| 19.81 | 12.36 | 10.46 | 6.55 | 26.18 | 12.08 | 3.49 | 3.90 | 2.47 | 0.90 | 1.81 | 足 柄 上 郡 計 |
| 15.92 | 11.37 | 9.03 | 7.70 | 29.03 | 14.10 | 4.25 | 3.56 | 2.34 | 0.72 | 1.97 | 中 井 町 町 |
| 16.93 | 13.32 | 10.10 | 6.77 | 26.92 | 11.60 | 4.45 | 4.04 | 2.95 | 1.00 | 1.92 | 大 井 町 町 |
| 20.96 | 12.75 | 10.57 | 6.70 | 25.63 | 10.94 | 3.21 | 3.86 | 2.45 | 0.94 | 1.97 | 大 松 町 町 |
| 21.96 | 10.00 | 12.77 | 6.73 | 25.60 | 12.57 | 2.31 | 3.56 | 2.03 | 0.85 | 1.63 | 山 北 町 町 |
| 21.83 | 14.89 | 8.54 | 4.95 | 24.60 | 11.77 | 3.74 | 4.51 | 2.61 | 0.93 | 1.64 | 開 成 町 町 |
| 10.61 | 20.43 | 7.28 | 5.65 | 31.59 | 11.21 | 3.01 | 4.50 | 2.79 | 0.97 | 1.95 | 足 柄 下 郡 計 |
| 8.94 | 20.45 | 5.77 | 5.75 | 34.72 | 11.88 | 2.50 | 4.63 | 2.50 | 0.92 | 1.95 | 箱 根 町 町 |
| 12.28 | 23.60 | 8.45 | 5.48 | 25.94 | 10.72 | 3.50 | 4.57 | 2.52 | 0.96 | 1.98 | 真 鶴 町 町 |
| 11.25 | 19.00 | 8.01 | 5.65 | 31.49 | 10.88 | 3.22 | 4.37 | 3.16 | 1.02 | 1.94 | 湯 河 原 町 町 |
| 15.34 | 15.30 | 11.00 | 6.95 | 23.69 | 12.29 | 4.98 | 4.45 | 3.10 | 1.16 | 1.76 | 5 区 計 |

資料4 公民選挙協力と社会党得票の比較：77年-83年

| | 77全 | | 77年 | | 1977(地) | | 1977(地) | | 80全 | | 80年 | | 1980(地) | | 1980(地) | | 83全 | | 83年 | | 1983(地) | | 1983(地) | | |
|--------|---------|--------|---------|---------|---------|-----|---------|--------|---------|---------|---------|--------|---------|---------|---------|-----|------|-----|------|-----|---------|-----|---------|-----|--|
| | 公民合計 | 達成率 | 公民協力 | 達成率 | 民社(無) | 社会党 | 公民合計 | 達成率 | 民社党 | 社会党 | 公民合計 | 達成率 | 民社党 | 社会党 | 公民合計 | 達成率 | 公民協力 | 達成率 | 公民合計 | 達成率 | 公民協力 | 達成率 | 公民合計 | 達成率 | |
| 神奈川 県 | 684,967 | 75.66 | 518,272 | 593,009 | | | 700,381 | 94.83 | 664,167 | 692,100 | 715,152 | 96.21 | 688,049 | 477,919 | | | | | | | | | | | |
| 横浜 市 | 285,458 | 77.77 | 221,988 | 262,373 | | | 282,990 | 98.09 | 277,597 | 289,296 | 295,811 | 95.39 | 282,165 | 202,570 | | | | | | | | | | | |
| 見 区 | 27,882 | 77.35 | 21,568 | 19,989 | | | 26,145 | 97.51 | 25,493 | 22,606 | 27,888 | 94.55 | 26,367 | 14,093 | | | | | | | | | | | |
| 神奈川 区 | 22,743 | 80.63 | 18,337 | 19,287 | | | 21,884 | 101.62 | 22,239 | 19,686 | 21,567 | 92.63 | 19,977 | 12,649 | | | | | | | | | | | |
| 西 区 | 11,338 | 68.95 | 7,817 | 9,405 | | | 9,984 | 91.95 | 9,180 | 8,703 | 10,325 | 107.78 | 11,128 | 5,583 | | | | | | | | | | | |
| 中 区 | 12,540 | 78.62 | 9,859 | 9,218 | | | 11,635 | 90.90 | 10,576 | 9,644 | 11,764 | 94.95 | 11,170 | 5,824 | | | | | | | | | | | |
| 北 区 | 21,908 | 86.67 | 18,987 | 21,826 | | | 22,975 | 100.12 | 23,002 | 26,201 | 24,261 | 100.31 | 24,336 | 15,722 | | | | | | | | | | | |
| 緑 区 | 20,382 | 80.51 | 16,409 | 24,326 | | | 22,365 | 103.48 | 23,144 | 28,741 | 24,722 | 96.77 | 23,923 | 20,855 | | | | | | | | | | | |
| 1 区計 | 116,793 | 79.61 | 92,977 | 104,051 | | | 114,989 | 98.82 | 113,634 | 115,581 | 120,527 | 96.99 | 116,901 | 74,726 | | | | | | | | | | | |
| 南 区 | 23,145 | 72.20 | 16,711 | 17,662 | | | 21,547 | 85.00 | 18,314 | 19,448 | 22,103 | 100.27 | 22,163 | 12,820 | | | | | | | | | | | |
| 南 区 | 19,565 | 73.90 | 14,459 | 16,487 | | | 19,095 | 95.98 | 18,328 | 18,682 | 19,255 | 97.46 | 18,766 | 13,814 | | | | | | | | | | | |
| 保土ヶ谷 区 | 20,100 | 74.17 | 14,908 | 18,678 | | | 19,857 | 89.24 | 17,720 | 20,265 | 19,813 | 97.68 | 19,353 | 14,232 | | | | | | | | | | | |
| 旭 区 | 24,078 | 76.78 | 18,487 | 22,433 | | | 23,949 | 97.19 | 23,276 | 24,623 | 25,078 | 92.57 | 23,215 | 18,076 | | | | | | | | | | | |
| 磯 区 | 17,175 | 77.09 | 13,240 | 16,613 | | | 15,218 | 99.94 | 15,209 | 18,760 | 17,025 | 95.05 | 16,183 | 12,376 | | | | | | | | | | | |
| 子 区 | 16,367 | 80.09 | 13,108 | 13,887 | | | 16,838 | 105.49 | 17,762 | 16,798 | 18,228 | 90.32 | 16,463 | 12,938 | | | | | | | | | | | |
| 塚 区 | 36,010 | 81.41 | 29,316 | 39,922 | | | 39,512 | 108.03 | 42,684 | 42,185 | 41,552 | 90.48 | 37,595 | 33,942 | | | | | | | | | | | |
| 金 区 | 12,207 | 71.94 | 8,782 | 12,640 | | | 11,978 | 89.08 | 10,670 | 12,954 | 12,230 | 94.24 | 11,526 | 9,646 | | | | | | | | | | | |
| 4 区計 | 168,647 | 76.50 | 129,011 | 158,322 | | | 167,994 | 97.60 | 163,963 | 173,715 | 175,284 | 94.28 | 165,264 | 127,844 | | | | | | | | | | | |
| 川 市 | 99,986 | 70.74 | 70,735 | 90,589 | | | 97,722 | 85.47 | 83,521 | 96,038 | 102,437 | 101.04 | 103,499 | 65,409 | | | | | | | | | | | |
| 崎 市 | 24,986 | 64.33 | 16,074 | 17,976 | | | 22,682 | 75.63 | 17,154 | 17,977 | 23,723 | 99.66 | 23,643 | 10,963 | | | | | | | | | | | |
| 市 区 | 16,383 | 67.24 | 11,016 | 14,789 | | | 15,262 | 78.91 | 12,044 | 14,652 | 15,680 | 98.63 | 15,465 | 9,224 | | | | | | | | | | | |
| 原 区 | 18,558 | 72.17 | 13,394 | 17,997 | | | 18,085 | 81.09 | 14,665 | 18,199 | 18,212 | 100.09 | 18,228 | 11,644 | | | | | | | | | | | |
| 中高 区 | 24,461 | 71.15 | 17,404 | 22,457 | | | 24,728 | 90.07 | 22,273 | 25,475 | 14,397 | 105.06 | 15,125 | 9,017 | | | | | | | | | | | |
| 宮 区 | 15,793 | 81.35 | 12,847 | 17,370 | | | 16,962 | 102.49 | 17,385 | 19,735 | 12,322 | 103.82 | 12,793 | 9,349 | | | | | | | | | | | |
| 多 区 | 50,658 | 76.18 | 38,590 | 31,104 | | | 54,771 | 90.31 | 49,464 | 39,346 | 6,596 | 97.91 | 6,458 | 6,543 | | | | | | | | | | | |
| 麻 市 | 13,054 | 95.30 | 12,441 | 13,479 | | | 13,540 | 125.78 | 17,030 | 14,925 | 50,503 | 89.81 | 45,356 | 28,249 | | | | | | | | | | | |
| 須 市 | 5,482 | 83.56 | 4,581 | 4,997 | | | 5,446 | 113.57 | 6,185 | 5,799 | 14,401 | 85.15 | 12,262 | 11,137 | | | | | | | | | | | |
| 鎌 子 市 | 2,287 | 84.96 | 1,943 | 1,846 | | | 2,281 | 121.13 | 2,763 | 2,215 | 5,322 | 88.29 | 4,699 | 3,833 | | | | | | | | | | | |
| 鎌 山 市 | 4,687 | 67.27 | 3,153 | 2,367 | | | 4,271 | 75.16 | 3,210 | 2,507 | 2,219 | 86.89 | 1,928 | 1,609 | | | | | | | | | | | |
| 2 区計 | 176,349 | 74.54 | 131,443 | 144,382 | | | 178,028 | 91.09 | 162,173 | 160,830 | 179,465 | 95.98 | 172,248 | 111,996 | | | | | | | | | | | |
| 藤 市 | 25,285 | 77.82 | 19,676 | 23,655 | | | 26,802 | 100.95 | 27,056 | 29,109 | 27,918 | 95.11 | 26,554 | 21,041 | | | | | | | | | | | |
| 崎 市 | 15,049 | 78.16 | 11,762 | 14,258 | | | 15,313 | 97.62 | 14,948 | 18,957 | 15,959 | 99.49 | 15,877 | 12,153 | | | | | | | | | | | |
| 相 市 | 38,783 | 71.49 | 27,725 | 34,890 | | | 42,541 | 89.54 | 38,091 | 42,024 | 42,745 | 100.61 | 43,004 | 28,486 | | | | | | | | | | | |
| 大 市 | 17,441 | 67.26 | 11,730 | 13,765 | | | 17,534 | 88.05 | 15,438 | 16,494 | 16,844 | 100.46 | 16,921 | 10,823 | | | | | | | | | | | |
| 海老名 市 | 6,714 | 70.81 | 4,754 | 5,738 | | | 7,410 | 91.31 | 6,766 | 7,919 | 8,004 | 95.01 | 7,605 | 6,967 | | | | | | | | | | | |
| 座 市 | 10,585 | 75.09 | 7,948 | 6,874 | | | 11,600 | 94.05 | 10,910 | 9,064 | 11,388 | 99.46 | 11,326 | 6,089 | | | | | | | | | | | |
| 綾 市 | 6,326 | 70.58 | 4,465 | 5,273 | | | 7,199 | 89.12 | 6,416 | 6,584 | 7,205 | 96.18 | 6,930 | 4,479 | | | | | | | | | | | |
| 寒 市 | 4,345 | 81.38 | 3,536 | 2,407 | | | 4,907 | 92.81 | 4,554 | 3,655 | 4,915 | 98.76 | 4,854 | 2,138 | | | | | | | | | | | |
| 津久井 市 | 4,105 | 54.45 | 2,235 | 4,588 | | | 4,143 | 74.05 | 3,068 | 5,853 | 5,501 | 100.64 | 5,536 | 4,445 | | | | | | | | | | | |
| 郡 計 | 1,369 | 57.93 | 793 | 1,017 | | | 1,441 | 80.85 | 1,165 | 1,726 | 1,673 | 103.29 | 1,728 | 1,379 | | | | | | | | | | | |
| 城 山 町 | 1,471 | 54.86 | 807 | 1,580 | | | 1,519 | 74.26 | 1,128 | 2,050 | 2,142 | 101.59 | 2,176 | 1,467 | | | | | | | | | | | |
| 津 山 町 | 657 | 51.14 | 336 | 956 | | | 591 | 71.74 | 424 | 1,003 | 787 | 94.54 | 744 | 733 | | | | | | | | | | | |
| 相模 町 | 608 | 49.18 | 299 | 1,035 | | | 592 | 59.29 | 351 | 1,074 | 899 | 98.78 | 888 | 866 | | | | | | | | | | | |
| 野 町 | 128,633 | 72.95 | 93,832 | 111,448 | | | 137,449 | 92.58 | 127,247 | 139,659 | 140,479 | 98.67 | 138,607 | 96,621 | | | | | | | | | | | |
| 平 市 | 24,276 | 83.19 | 20,194 | 16,616 | | | 26,433 | 94.30 | 24,926 | 22,766 | 24,176 | 90.19 | 21,805 | 14,008 | | | | | | | | | | | |
| 小 市 | 16,851 | 70.46 | 11,874 | 15,555 | | | 17,200 | 96.52 | 16,602 | 21,462 | 17,147 | 98.33 | 16,861 | 13,134 | | | | | | | | | | | |
| 野 市 | 9,118 | 73.27 | 6,681 | 9,834 | | | 10,738 | 91.23 | 9,796 | 14,251 | 10,869 | 100.01 | 10,870 | 10,176 | | | | | | | | | | | |
| 13,733 | 77.46 | 10,638 | 6,674 | 16,464 | | | 16,464 | 96.47 | 15,882 | 10,237 | 15,951 | 97.15 | 15,496 | 7,785 | | | | | | | | | | | |
| 伊 市 | 6,849 | 79.63 | 5,454 | 4,521 | | | 7,350 | 94.04 | 6,912 | 5,869 | 6,495 | 93.73 | 6,088 | 4,158 | | | | | | | | | | | |
| 原 市 | 3,409 | 67.06 | 2,286 | 4,914 | | | 3,420 | 92.40 | 3,160 | 6,601 | 3,305 | 101.18 | 3,344 | 3,860 | | | | | | | | | | | |
| 足 市 | 3,358 | 60.72 | 2,039 | 1,668 | | | 3,642 | 84.68 | 3,084 | 1,958 | 3,906 | 99.49 | 3,866 | 1,350 | | | | | | | | | | | |
| 愛 市 | 2,955 | 63.01 | 1,862 | 1,494 | | | 3,212 | 85.99 | 2,762 | 1,712 | 3,599 | 99.14 | 3,568 | 1,216 | | | | | | | | | | | |
| 川 町 | 403 | 43.92 | 177 | 174 | | | 430 | 74.88 | 322 | 246 | 307 | 103.58 | 318 | 134 | | | | | | | | | | | |
| 中 町 | 5,477 | 79.75 | 4,368 | 4,657 | | | 5,752 | 104.52 | 6,012 | 6,134 | 5,354 | 85.92 | 4,600 | 4,285 | | | | | | | | | | | |
| 大 町 | 2,996 | 78.74 | 2,35 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

編集後記



わが自治研センターも設立して6年間が終った。その転期となるべき第7回定期総会が無事終了。会員約50名の参加で、ものすごい暑さの中で開かれたが、熱心な討論が出された。今後のセンター運営について、会員と研究会について、会費引上げについてetc…。出された意見をぜひ生かしたい。

6年たったと言えば、小学生なら卒業し、中学生の仲間入りとなるわけだ。はたして、中学生になってどう成長するかが問題だ。最初の3年間は事務局ぐるみの勉強と基礎固めであった。そしてその後の3年は現実的課題に追まわられた。やはり、中学生らしくなるためにも、新しい飛躍をめざしてガンバラなくちゃ……。

県評と自治研センターの共同研究が目下進行中、夏休みを返上(?)しての熱心な討議が続いた。なかでも、自立的な地域運動をすすめる団体とのヒアリングが圧感であった。約30団体の方々と4日間にわたっての討論は実に有意義であった。目のウロコが落ちるように。

地域での運動は実際大変なことなのだ。しかし、やらなければならない課題である。地域運動を実践している人々にとって、労働組合はむずかしいところと見られているようだ。労働者が地域で主人公になれるかどうか、今後の議論の進展を見たい。(上林)

前号では75年以降の選挙データを整理、検討

してみた。日本社会党の長期低落傾向は今だ止まっていないのがよくわかった。60年代の後半から今日までで党改革論議はほぼ出つくした感さえある。日本社会党の現状を水漏れしやすい『古い皮袋』にたとえたり、気の利いた『新しい酒(カクテル)』の話をする人はうんざりする程たくさんいる。今必要なのは『新しい皮袋』を作ることなのか、現実を客観的に、総合的に検証したうえで柔軟な政策提起ができる能力を培うことなのか…。いずれ結論を出さなければならない時期が来るだろう。

神奈川県評と自治研センターでこの春以来続けている地域運動についての実態調査・研究は、労働運動と地域の関係をとらえ直すという点だけでなく、70年代を通じて地域の社会構造がいかに変化し、今どのような政策が必要になっているかを明らかにする目的も持っている。今日の現状に焦った、上滑りの論議でなく、地域社会の科学的・総合的把握を通じて社会を、地域の政治構造の変化を動的にとらえようという試みである。これこそ今必要なのではないか。(佐藤)

残暑 お見舞い申し上げます。

第7回の定期総会も無事に終り、ほっと一息。ややおくれぎみではありますが、会員のみなさんへの報告書(月報)ができあがりました。

すでにご案内してありますが、今年は9月を「自治研月間」とし、第20回地方自治神奈川集会在9月1日の障害者分科会を皮切りに開催されます。各分科会・全体集会での職場・地域での活動など活発な討論を期待します。

また、10月4～7日の日程で宇都宮市で全国自治研集会在開催されます。自治労県本部で参加者の集約中。(大野)

1983年7月25日

自治研かながわ月報 第56号(1983年7月号)

発行所 神奈川県地方自治研究センター

発行人 清水嘉治・新田俊三・横山桂次 編集人 上林得郎 定価 1部 400円

〒231 横浜市中区本町1-7 東ビル 5F ☎045(201)1213

振替口座 労働金庫本店 1365-100982 横浜銀行市庁舎支店 317-844970

会員になるには

1. 誰でも会員になれます。
2. 申込書は自治研センター事務局または自治労県本部にあります。会費月**400円**の半年または1年分をそえてお申し込みください。（84年1月以降は500円となります。）
3. 詳細は自治研センター事務局 ☎045 (201) 1213, または自治労県本部 ☎045 (681) 7821 へご連絡ください。

会員の特典

1. 自治研センターの「自治研かながわ月報」が隔月送られます。
2. 「月刊自治研」（自治労本部自治研推進委員会発行・A5判・120～150ページ定価450円）が毎月無料で購読できます。
3. 自治研センターの資料集が活用でき、調査研究会などに参加できます。